

令和6年第9回尾道市教育委員会会議録

日 時 令和6年8月22日（木） 午前10時00分 開議
場 所 尾道市庁舎4階 委員会室
署名委員 奥田委員

午前10時0分 開会

○宮本教育長 定刻になりましたので、ただいまから第9回教育委員会定例会を開きます。

本日の会議日程は、お手元に印刷配付のとおりです。

本日の会議録署名委員は、奥田委員を指名いたします。

これより日程に入ります。

日程第1、業務報告及び行事予定を議題といたします。

業務報告及び行事予定のうち重要な項目がありましたら、順次報告をお願いします。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。庶務課に関わります業務報告並びに行事予定について御説明をさせていただきます。議案集の1ページをお開きください。

まず、業務報告についてでございますが、去る7月30日に教育委員会事務点検評価学識経験者会議が実施されております。会議においては、学識経験者の皆様より、教育委員会の事業への取組内容、手法、整理の仕方に至るまで様々な御指摘をいただいております。御意見を踏まえながら、評価報告書の整理をさせていただいているところでございます。

行事予定については別添記載のとおりとなっております。

簡単ではございますが、御報告とさせていただきます。

○井上生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。生涯学習課の業務報告及び行事予定について御報告をいたします。2ページを御覧ください。

まず、業務報告でございますが、8月18日におのみち市民大学・家庭教育支援講座「おやこのための音楽会」を市民センターむかいしまで開催いたしました。兄弟デュオ、ベラルーチェによる参加型コンサートで、294名の親子が参加をされました。楽器を持参された子供さんも多く、歌ったり、演奏したり、楽しそうに体を動かしている姿が印象的でした。

続きまして、行事予定でございますが、9月8日に第11回おのみちキッズフ

ェスタを開催いたします。過去2年間はマリンスポーツを中心にした内容でしたが、今回は市民センターむかいしまを会場にして、スタンプラリーや本の交換会、給食用鍋でかきまぜ体験など様々な体験機会の創出を図ってまいります。

続きまして、図書館について、指定管理者から報告のあった事業の報告をいたします。3ページを御覧ください。3ページは中央図書館でございます。

業務報告につきましては記載のとおりでございます。

行事予定も記載のとおりでございますが、記載ができていない行事がありますので、申し訳ございませんが、追加をお願いします。

8月25日に親子で楽しむボードゲームを開催いたします。ボードゲームを通して、子供の個人能力の育成や社会性を身につけることを目的として、中央図書館では初めて企画したものでございまして、幼児から小学校高学年までを対象に、4種類のボードゲームを行ってまいります。

続きまして、4ページを御覧ください。みつぎ子ども図書館でございます。

業務報告につきましては記載のとおりでございます。

行事予定でございますが、9月15日に本のリサイクル市を開催します。図書館の前の広場で行われる道の駅と連携したイベントで、毎年多くの方が訪れる人気のイベントとなっております。

続きまして、5ページでございます。

因島図書館でございますが、まず業務報告でございますが、8月20日から22日に因島南中学校、8月21日から23日に因北中学校の生徒の皆さんが職場体験を行っております。本の貸出しや返却の受付、読み聞かせの練習、ポップ作り、移動図書館車で貸し出す本の選定など、図書館での仕事に興味深く前向きに取り組まれていると聞いております。

行事予定につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、6ページを御覧ください。瀬戸田図書館でございます。

業務報告につきましては記載のとおりです。

行事予定でございますが、9月7日に「ろうそくの灯りでおはなし会」を行います。本を使わず、言葉だけで聞き手に語るおはなし会で、動画などの視覚情報に慣れた子供たちに聞いて想像する体験をしてもらいたいと企画したものでございます。おはなし会と合わせて、ヘルマンハーブの演奏も行われるということでございます。

続きまして、7ページを御覧ください。向島子ども図書館でございます。

業務報告は記載のとおりでございます。

行事予定でございますが、9月は世界アルツハイマー月間ということで、9月の壁面展示でアルツハイマー月間認知症啓発パネル展と関連資料展示と合わせて、9月7日に人形劇「にんちしょうってなあ〜に？まいごになったロボのチーコおばあちゃん」を開催いたします。人形劇でございますが、子供たちに認知症を知ってほしいということで初めて企画したもので、今回のために、向島地域包括支援センターの職員などで劇団を結成されると聞いております。

以上で図書館の業務報告を終わります。

○榎原因島瀬戸田地域教育課長 教育長、因島瀬戸田地域教育課長。

因島瀬戸田地域教育課の業務報告並びに行事予定について御説明いたします。議案集8ページをお開きください。

業務報告及び行事予定ともに、進捗中の学校修繕業務及び委託業務を主に記載しております。まず、業務報告でございます。

8月8日、因北中学校屋外トイレ新築工事の開札を行いました。前回、6月末の入札では応札者がなかったため、今回、2回目の入札となりました。今回においては、応札はあったものの、予定価格超過のため、不調とのことですが、現在は最低価格提示業者と随意契約に向けて協議中と聞いております。調整がつけば、今月中には施工業者が決定する見込みです。

8月9日、庶務課と同様に、因島瀬戸田地域小・中学校施設非構造部材点検業務委託の入札を行い、委託業者が決定いたしました。

次に、行事予定でございます。

8月28日、瀬戸田中学校B棟屋上防水修繕業務の入札を行う予定です。

以上でございます。

○新苗美術館長 教育長、美術館長。美術館の業務報告並びに行事予定の御説明をいたします。議案集9ページを御覧ください。

市立美術館では、9月8日まで、特別展「ディズニー キャッツ&ドッグス」展を開催しておりますが、8月10日に来館者が1万人、また8月18日には市立美術館のリニューアルオープン後の来館者が100万人に達しました。

8月18日には、サクソとピアノによるミュージアムコンサートを開催し、約100名が参加し、展覧会と音楽を一緒に楽しんでいただきました。

行事予定につきまして、市立美術館では、9月14日から、「坂道を歩く 小林和作と中川一政」と題し、小林和作の没後50年を記念する特別展を開催いたします。

圓鏝勝三彫刻美術館では、9月10日から「圓鏝勝三 いのちをみつめて」と題し、秋季特別展を開催します。圓鏝勝三は、愛や平和をテーマに数多くの彫

刻作品を制作しています。本展では、親子や動物をモチーフにした、貴い命への温かなまなざしが感じられる作品を御紹介いたします。

また、平山郁夫美術館では、9月21日から「三国志と中国」展が開催されます。2024年は広島県四川省友好提携40周年に当たります。四川省は三国志の舞台の一つであり、平山郁夫は吉川英治の全集で挿絵を担当しました。これらの作品に合わせて、平山郁夫が描いた中国の作品を御紹介いたします。

その他につきましては記載のとおりでございます。

○**安保学校経営企画課長** 教育長、学校経営企画課長。学校経営企画課に係る業務報告並びに行事予定について御報告をいたします。議案集10ページを御覧ください。

まず、業務報告についてですが、7月26日、教頭、総括事務長、事務長、主幹教諭を対象とする学校経営サブリーダー研修会を行いました。広島大学大学院の杉原満治准教授から人材育成についての講話、学校経営企画課から教職員のメンタルヘルスについての講義、演習、午後からは、実践力向上講座として、テーマ別のグループに分かれ、企業訪問したり、講師を招いて話を伺ったりと、それぞれが企画した研修方法で研修を深めました。

8月19日、校長会議を行いました。

8月22日、本日午後、教務主任研修会を行います。府中市教育委員会教育課程研究センター副センター長の竹内博行様を講師にお迎えし、「地域と共にある学校づくりをめざして」と題して、コミュニティ・スクールのメリットや具体的事例などの講話や協議を行います。

また、学校経営アドバイザーからは、1学期の学校訪問を通して、教務主任に期待することについての講話、学校経営企画課から、学校評価を活用した小・中連携の推進について協議を行う予定としております。

次に、今後の予定についてですが、8月26日に第4回スクールリーダー育成研修を行います。

続いて、尾道みなど中学校区小中一貫教育校の開校に向けた進捗状況についてですが、8月8日、第7回生徒指導等検討部会を久保中学校で行いました。通学支援や中学校における自転車通学の在り方、学校規定品等について協議を行いました。

中学校の自転車通学の距離要件について、半径2キロメートル以上、または道のり3キロメートル以上とすることとし、個別の案件については学校と保護者とで協議を行うことが再提案されました。このことについては、次回の開校準備委員会で議案として提出する予定としております。

体操服については、デザインはほぼ決まっております、次回の開校準備委員会で紹介する予定です。現在、校章を入れるのか、名前を刺繍するのかなど、詳細を検討しているところでございます。

今後の予定としては、9月24日に第11回開校準備委員会を行います。委員の投票により、校章デザイン5案の中から1案に絞る予定としております。

続いて、重井小・中学校の学校再編についてですが、児童・生徒数の減少に伴い、小学校の複式学級化、中学校の小規模化が見込まれるため、令和5年12月以降、重井小・中学校の保護者、地域と今後の重井小中・学校の在り方について意見交換会を重ね、慎重に検討してまいりました。

令和9年4月に重井小学校、重井中学校同時に学校再編をする方向性について、昨日、8月21日に議員説明会と保護者説明会を行いました。

議員説明会では、議員の皆様から、学校再編への反対の意見はございませんでしたが、因北小・中学校の規模でALTの常駐化が必要なのか、小中一貫教育校がなぜ施設一体型でないのか、再編のときだけ小中一貫教育校とするのか、校舎の建て替えの計画はないのか、SSRを小学校にも配置してはどうか、通学対策はどのように考えているのかといった御質問がありました。

また、保護者、地域の方に丁寧に説明して欲しい、子供たちの思いを直接聞いてほしい、通学対策については柔軟に検討をしてほしい、子供の安全・安心を考えて教育環境を整備して欲しいといった御意見がございました。

保護者説明会での主な質問としては、今後のスケジュールについて、通学路の安全対策や通学支援について、中学校の自転車通学の範囲について御質問がありました。教育内容のソフト面については期待する声をいただきました。反対意見はなく、参加された保護者の皆様からは御理解いただけましたものと捉えております。昨日参加されなかった保護者の方には、保護者説明会の資料を学校経由で配布します。

また、アンケート用紙をC o DMON（コドモン）で配信し、御質問や御意見があれば、9月6日までに提出していただくようにしております。保護者からの御意見、御質問については、第2回保護者説明会等で回答する予定でございます。

今後の予定として、8月30日に重井地域の説明会を行います。

行事予定にはございませんが、今後、因北中学校区の保護者説明会、地域説明会も予定しており、日程を調整しているところでございます。

令和7年度、尾道みなと中学校区小中一貫教育校開校に向けて、同時進行で

準備を進めていくこととなりますが、因北中学校区についても、令和9年度から尾道2番目となる小中一貫教育校として新たな学びを創造し、尾道みなと中学校区とともに、尾道スタンダードとして市内へ発信していけるよう、今後も子供たちにとって楽しく生き生きと教育活動ができる学校、保護者、地域から愛され、誇りに思える学校を目指し、全力で取り組んでまいります。

以上でございます。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。教育指導課に係る業務報告並びに行事予定について御説明申し上げます。議案集11ページを御覧ください。

それでは、業務報告です。

7月29日に、オンラインで幼保小合同研修会を実施いたしました。今年度は、山田教育指導アドバイザーから、広島県と尾道市の取組についての講話や浦崎小学校から浦崎ブロックの取組を実践報告していただき、その後、校區別協議等を行いました。

7月30日に、尾道市初任者研修会、教職経験者5年目研修会を合同で実施いたしました。初任者31人、5年目45人を対象に、市役所2階の多目的室で実施いたしました。

研修内容は、尾道教育総合推進計画の説明や服務に関する内容、井原学校経営アドバイザーから、「1学期を振り返って 授業づくり」と題して、協議、演習を行いました。初任者は8月5日にも2日目の研修を行いました。教職員同士が研修の協議等によりネットワークを広げたり、2学期からの授業改善や児童・生徒への関わり方等について見直したりする機会となりました。

8月2日に、尾道市中学校リーダー研修会を実施いたしました。市内中学校から生徒会の役員48人が一堂に会し、今年で20年目となる研修会を実施しています。今回は、「学校や尾道の課題と向き合い活性化させよう」をテーマに、テーマ別のグループ協議や福山大学生命工学部海洋生物科学科の有瀧教授から、「ふるさと尾道の海と未来」と題して、ふるさと尾道の魅力や地域の水産業の振興や地域貢献をキーワードに取り組んでいることについてお話をいただきました。参加した生徒は、校内リーダーとしての自覚と市内中学校のリーダーとしての連帯感を高めていました。

リーダー研修会の第2回は、令和6年12月24日を予定しています。

8月3日に、イングリッシュ・デイ・尾道を実施いたしました。参加した生徒からは、人と交流しながら英語が学べたので楽しかった、コミュニケーション能力は頑張らなくても高めることができた、思いが伝わったときはとてもうれしかったなど、充実した感想が多く寄せられました。各校において、1学期

に実施していただいている毎日取り組める英語の活用場面の取組と併せて、各学校なりのイングリッシュ・デイをつくっていただき、英語の勉強が好き、日常生活においても英語でやり取りができる児童・生徒が増えるよう、英語の授業改善とともに取組を進めていきたいと考えております。

続いて、8月8日の尾道教育研究会全体研修会はオンラインで実施いたしました。まず、小柳学校教育部長から尾道市の不登校支援の概要について講話を行い、その後、広島大学人間社会科学科社会科学科教職大学院の山崎講師から、「不登校児童・生徒の適切な理解と関わり」と題して、子供たちを取り巻く状況や現状を踏まえ、どう子供たちを理解し、受容していくのか、アセスの効果的な活用方法等を基にお話をいただきました。

8月20日に尾道小学校教育研究会療育部会を実施いたしました。

次に、行事予定です。行事については御覧いただいているとおりです。

以上でございます。

○**宮本教育長** ただいまの報告につきまして御意見、御質問はありませんか。

豊田委員。

○**豊田委員** 豊田でございます。

教育指導課に質問です。まず1点ですが、尾道教育研究会を実施されているようですが、これは会に入らない人たちが今の時点で何人ぐらいおられますか、小・中別々に。

○**金子教育指導課長** 教育長、教育指導課長。すみません、今年度の人数については、正確なものが今手元にありませんので、例年くらいのところに入っておられますけれども、また次回きちんとした人数を御報告させていただければと思います。

○**豊田委員** 分かりました。10人未満ぐらいですか、入らない人が。はっきり分からなくて、ざっとで結構です。

○**金子教育指導課長** 教育長、教育指導課長。職員全体の9割弱ぐらいが入っていると、今大体のところ把握しております。以上です。

○**豊田委員** はい、分かりました。ということは、1割が入っていないということですね。この入っていない人の人数の推移はどのようになっているか、また次回で結構ですから、ずっと入らない人は入らないのか、幾らか変動があるのかということを次回教えてください。

それから、2点目ですけれども、教育指導課の中で、イングリッシュ・デイですかね、あれを私はケーブルテレビで見たんですけれども、教育長さんも参加しておられて、すばらしい会でしたね。中学生が20人ぐらいいたんですか

ね、もっといきましたか。また、ALTさんですかね、その方たちもたくさんに
来られて、非常に和やかに、日本語を使わないで、英語を使って会話をしてコ
ミュニケーションを深めるというところで、見ていても非常に、ああ、すばら
しいなと思ったんですけれども、こういったものの実践を各学校へ是非おろし
ていただいて、もっともっと広げていくといいんじゃないかなということをし
ていました。

以上です。ありがとうございました。

○宮本教育長 奥田委員。

○奥田委員 奥田です。

先ほど豊田委員が言われたのと同じことになるんですが、教育指導課のイン
グリッシュ・デイの取組、これはすばらしい取組だったのではないかなと思
います。それで、今回、夏にされたわけですが、こういう取組が、例えば冬季休
業中とか、春季休業中とか、そういうところでもやられる計画はあるのか。
こういうイベントを通して、もっと子供たちが英語に親しむというか、自然に
英語を学ぶ、英語の楽しさを理解するというのは本当にすばらしいことで、そ
ういう機運が高まればいいなと思います。そのあたりも、せつかく1回だけの
取組に終わらずに、継続していただけたらと思います。

それから、説明の中で、各学校への取組もお願いしてるということでした。
具体的に、そういう小学校、中学校を含めて、こういう具体的な各学校への取
組が今どうなっておられるのか、そのあたりの見通しあたりも説明していただ
ければと思います。お願いします。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。

○宮本教育長 教育指導課長。

○金子教育指導課長 イングリッシュ・デイ・尾道のところにつきましては、と
ても子供たちが喜んで、たくさん活動してくれています。

そして、それを今後、ビデオ等を撮りましたので、またそれを編集いたしま
して、各学校のほうへ情報提供して、参考にさせていただきたいというふう
に考えているところです。

各学校においても、それぞれイングリッシュ・デイというのを既に行っている
学校もあります。例えば、休憩時間に廊下で、校長先生とALTがモニターを
見ながら英語で話をしている、そこにたくさんの子供たちが一緒になって参加
している小学校の取組や、中学校の方でもイングリッシュ・デイをしていると
いう報告も聞いています。このたび教育委員会で実施いたしましたイングリッ
シュ・デイを共有させていただいて、各学校の中でも広がっていけばいいなと

思っているところでございます。

また、冬季休業中や春季休業中でこのようなイングリッシュ・デイを開く予定は今のところはありませんけれども、また今後、検討してまいりたいと思っております。

以上です。

○宮本教育長 ほかにありませんか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

囲碁教室について、生涯学習課にお聞きしたいんですけども、今囲碁教室を開催されてるのは中央図書館と因島図書館だけですが、囲碁は尾道の市技ですよ。この市技を、要は私としては競技人口をもっと増やして、全国大会なんかがあれば、尾道が常に入賞する、そこまではいかななくても、常に参加しているというようなふうになっていただければいいなと思うんですけども、各図書館のこの囲碁教室の開催数とか、市技の囲碁を尾道として将来的にどういうふうにしたいのか、市技として指定はしているけども、ただ皆さん適当にやっつてよという程度なのか、競技として上を目指そうとしているのか、その辺があれば教えてください。

○井上生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。図書館での囲碁教室でございますが、因島はこれまでもずっとやってきて、中央図書館について始めたところがあります。そのほかの公民館、図書館についてはやっつてるような、そういった情報は把握はしてないんですけども、この囲碁の普及につきましては、これは文化振興が中心になってやっております。その中で、いろんな取組の一つということで、この図書館でやったり、あるいは公民館でも主催講座として囲碁の大会もやっているところです。

今後、市技でございますので、囲碁の普及については、因島の囲碁協会様であるとか、尾道の囲碁協会、こういった方に御協力をいただいて、さらなる盛り上がりというか、にぎわいにつなげていけたらと思っております。

以上です。

○宮本教育長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、日程第1、業務報告及び行事予定を終わります。

次に、日程第2、議案の審査に入ります。

なお、議案第42号令和7年度に使用する広島県尾道南高等学校用教科用図書

の採択について及び議案第43号令和7年度に使用する中学校教科用図書の採択についての2案でございますが、これらの審議には教科用図書の搬入、搬出が必要になりますから、日程第3、報告事項の終了後、最後に審議をしたいと思っております。このことについて御意見はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、議案第42号、第43号は、日程第3、報告事項終了後に審議するものといたします。

それでは、議案第39号令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。議案第39号について御説明させていただき前に訂正がございますので、差し替えのお願いと訂正内容の御説明をさせていただきます。

先日、確認のためにお配りいたしました事務点検評価報告書につきまして、本日までに学識経験者の方などから修正の御要望をいただいております。変更が発生しております。

変更の内容については、11ページからの評価シート部分と49ページからの学識経験者の意見等に分けて新旧対照表をつけさせていただいておりますので、こちらを御参照ください。

また、本日お配りしております報告書は修正を反映したものとなっております。お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

それでは、改めて議案第39号令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書についてを御説明申し上げます。

議案集の12ページをお開きください。

この議案の提案理由でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書を作成いたしましたので、尾道市教育委員会教育長事務委任規則第1条第15号の規定に基づきまして、教育委員会の承認を求めるところでございます。

点検評価報告書は5月に素案をお配りしておりますが、報告書の構成について改めて御説明をいたします。

別冊の点検評価報告書を御覧ください。

報告書の1ページですが、はじめにといたしまして、本報告書の概要をお示ししております。

2 ページでは、点検及び評価の方法として、学識を有する方からの御意見を今後の取組に生かし、教育行政を推進していくことを明らかにしております。

3 ページは、教育委員会の令和5年度における活動状況です。

4 ページから5 ページまでは、令和5年度に教育委員会会議で審議された議案及び報告について記載しております。

6 ページには、教育委員会委員名簿を掲載しております。

7 ページから9 ページまでは、令和5年度に実施した施策事業について、尾道教育総合推進計画の体系別にその一覧を掲載しております。

評価点検を行った取組を51項目に整理をいたしまして、11ページから48ページまでにわたり、取組状況や成果と課題及び改善の方向性を記載しております。

去る7月30日火曜日に学識経験者会議を開催し、点検評価報告書に対して御意見を伺いいたしました。

49ページを御覧ください。

ここから、素案にはなかった新たに追加した部分でございます。学識経験者からいただいた御意見を取りまとめて掲載を行っております。

総括的な意見として、尾道の子供たちが地域で学び、地域を知って、そして郷土を愛する優しい子として育つことも大切だが、一方でグローバルな社会を生き抜くため、たくましい子の育成も必要である。尾道から出ていく子どもたくさんいるが、外から尾道を見つめ、尾道のよさを改めて感じてもらった上で、再び尾道に帰ってくることがあれば、それを受け入れ、共に地域の発展のために活動する、こうした思いが込められた教育計画や取組になることを期待したいという御意見。

それから、子供たちは自分で企画し、主体的に取り組む活動であれば頑張ることができる。大谷翔平選手があんなに活躍できるのは、自分で活動の目標を決め、主体的にそれを実行するという納得という言葉がそこにあるからである。子供たちが達成感や自己肯定感を体験できる機会を増やすよう取り組んでほしいなどという御意見をいただいております。

そのほか、個別の取組に対する意見についても取りまとめております。これらにつきましては、今後の取組に活かしてまいりたいというふうに考えております。

また、学識経験者会議では、報告書の文章表現に関する御指摘もいただきました。今回お配りしております文書点検評価報告書案は、その御指摘を反映したものとなっております。

この報告書については、本日の教育委員会会議での御承認をいただきましたら、速やかに市議会へ提出し、ホームページによる公表を行いたいというふうに考えております。

以上、御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願いいたします。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はありませんか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、これより議案第39号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認することに決しました。

続いて、議案第40号令和7年度入学分学校選択制度の実施についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。議案集13ページを御覧ください。

議案第40号令和7年度入学分学校選択制度の実施について説明いたします。

令和7年度入学分学校選択制度を実施をするため、尾道市立小学校及び中学校の学校選択制度実施要綱第5条第1項に規定する受入れ可能人数について別表のとおり定め、教育委員会の承認を求めるものでございます。

まず、令和7年度入学分学校選択受入れ可能人数については、14ページ、別表1を御参照ください。

また、実施の日程については、15ページ、別表2のとおりでございます。

なお、特別支援学級の学校選択制度については、令和2年度入学から制度の利用ができるよう見直しを行いました。

特別支援学級の学校選択を希望される場合は、教育支援委員会での意見を参考に適切な就学相談を経てからの申請が望ましいということもあり、通常学級の申請とは別に申請期間を設けて実施いたします。

以上、令和7年度入学分学校選択制度の実施について、御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願いいたします。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はありませんか。

奥田委員。

○奥田委員 質問ですが、定員のところが入学予定者の定員があり、それを基にした学級数っていうのがあります。例えば尾道みなと小学校とかというところ

で、1学級の定員は、現在、35名を超えるとどうしたか、そのあたり説明いただけますか。2学級になるには何名以上でしたかね。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。今年度は5年生までは35人となっています。来年度、6年生を含めて35人になります。

○奥田委員 学級編制をするときに、各クラスの生徒が1学級35人以上になったときに2学級になるんですか、36人以上になったときに2学級になるんですか、その一般論のところ。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。一般論のところでは、今5年生までは35人を超えたら2学級になります。6年生は、今年は40人を超えたら2学級になります。来年度から、1から6年生含めて、35人を超えると2学級になります。

以上でございます。

○宮本教育長 豊田委員。

○豊田委員 学校選択制度について、始まったのが平成でしたかね、もう大方20年以上になるかなと思うんですけども、始まった時点では、学校によって非常に多いところ、少ないところがあって、バランスを取るということや、それから好きな学校へ行って勉強できるようにさせるということやら、いろいろ理由はあったと思いますが、その頃から比べて非常に事情が変わっております、人数も変わっておりますし。今後、この学校選択制について、見直しとしてはどのように市教委としては持っておられるのでしょうか。

○小柳学校教育部長 教育長、学校教育部長。

○宮本教育長 学校教育部長。

○小柳学校教育部長 学校選択制度につきましては、今おっしゃられたように約20年ぐらいもう経過しております。平成30年度に大きく見直しをして、40人枠をしていた土堂小学校、長江中学校については、市内統一して5人枠または10人枠、基本を10人枠としてということで整理をさせていただいて、今日に至っております。

議会等でも学校選択制度については賛否両論いただいております。それは市民の皆様の声だと思っております。私たちも教育長答弁の中で、やはり今後、見直しも含めて検討していかなければいけないというような答弁もさせていただいております。今後、保護者や子供たちのニーズ等も見させていただきながら、幾らか見直し時期を、今すぐいつとは言えませんが、やはり縮小する傾向で考えていかなければいけないということは認識しております。ですから、今後の子供たちの減少傾向も含めて、そういった制度の見直し時期を諮っ

ていきたいと思っております。

○宮本教育長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、これより議案第40号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認することに決しました。

議案第41号令和7年度に尾道市立小学校及び中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。議案集16ページを御覧ください。

議案第41号令和7年度に尾道市立小学校及び中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について御説明いたします。

本議案は、令和7年度に尾道市立小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書のうち、学校教育法附則第9条第1項の規定による図書について、令和7年度に尾道市立小・中学校で使用する教科用図書の採択基本方針に基づき、別紙のとおり採択したいので、教育委員会の承認を求めるものでございます。

なお、今回の一覧表は、今年度、小・中学校に在籍する特別支援学級の児童・生徒のみを対象としたものです。今後、行われる教育支援委員会により、新たに特別支援学級への入級が決定した児童・生徒の使用する一般図書は含まれておりません。

今後、特別支援学級の入級が決定した児童・生徒につきましては、11月に再度学校で教科用図書選定を行い、その結果、新たに教科用図書を採択する必要が生じたときには、12月の教育委員会会議の議案とさせていただきます。

以上、御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願いいたします。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はありませんか。

よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、これより議案第41号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認すること

に決しました。

以上で議案第42号、第43号を除く議案の審査を終わります。

次に、日程第3、報告に入ります。

報告第10号から第12号まで臨時代理の報告についてとなります。いずれも工事請負契約の締結となりますが、第10号と第11号は関連がありますので、一括して報告をお願いいたします。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。それでは、議案集22ページをお開きください。報告第10号、第11号の臨時代理の報告について御説明をさせていただきます。

本報告でございますけれども、尾道市長が別紙の議案を市議会に提出するに当たり、教育委員会の意見を申し出るところ、委員会の招集する時間的余裕がなく、特に緊急を要するため、尾道市教育委員会教育長事務委任規則第3条の規定により、8月9日に教育委員会の権限に属する事務を教育長が臨時に代理したことを同規則第5条第2項の規定により、教育委員会に報告を行うものでございます。

24ページをお開きください。

この報告は、(仮称)尾道地区学校給食センター新築工事の建築主体に関する工事請負契約の締結についてのものでございます。

(仮称)尾道地区学校給食センターは、老朽化した栗原北学校給食共同調理場に代わる新たな調理場として整備を予定しております。

この建築主体に関する工事は、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に規定する予定価格1億5,000万円以上の工事に該当するため、市議会の議決を要するというものでございます。

工事名、工事場所、工事概要、工事期間、請負金額等については記載のとおりでございます。

続きまして、25ページをお開きください。

25ページは、報告第11号の臨時代理の報告についてでございます。

こちらにつきましても、第10号と同様、尾道市長が別紙の議案を市議会に提出するに当たって、教育委員会の意見を申し出るところ、委員会を招集する時間的余裕がなく、特に緊急を要するため、尾道市教育委員会教育長事務委任規則第3条の規定により、8月9日に教育委員会の権限に属する事務を教育長が臨時に代理したことを報告するものでございます。

27ページをお開きください。

この報告は、（仮称）尾道地区学校給食センター新築工事の電気設備に関する工事請負契約の締結に関するものでございます。

この電気設備に関する工事は、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に規定する予定価格1億5,000万円以上の工事に該当するため、市議会の議決を受けるものでございます。

工事名、工事場所、工事概要、工事期間、請負金額等については記載のとおりでございます。

本来であれば、ただいま報告させていただきました建築主体、電気に加え、給食施設の熱源となる機械設備の契約も行う予定でございましたけれども、こちらにつきましては、入札不調により別途報告をさせていただく予定とさせていただいております。入札結果がおおむね月末には判明するというふうに聞いております。

以上、簡単ではございますが、臨時代理の報告とさせていただきます。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はありませんか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

この工事金額の妥当性とかそういったところはどこが審査するんですかね。そこんところだけ。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。こちらの工事金額の妥当性等につきましては、私どもでいうと建築部門がございまして、その建築部門のほうで積算等を行って、金額の妥当性、予定価格というものを積算するようなやり方で行っております。その専門の職員が、業者から提出された設計書に基づいて金額を積算しているというふうなところでございます。

以上でございます。

○宮本教育長 村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

その透明性というか、積算したものは公開されているんですかね。

○末國庶務課長 教育長、庶務課長。具体的な内容までは公開されているものではないというふうに認識しておりますけれども、基本的にはこの予定価格自体は入札終了後には公表されているというふうに認識しております。

以上でございます。

○宮本教育長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、続いて第12号の報告をお願いします。

○井上生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。それでは、議案集28ページを御覧ください。報告第12号臨時代理の報告についてを御説明させていただきます。

本報告でございますが、尾道市長が別紙の議案を9月の市議会に提出するに当たって、教育委員会の意見を申し出るところ、委員会を招集する時間的余裕がなく、特に緊急を要するため、8月14日に教育長が臨時代理したものでございます。

30ページを御覧ください。

この報告でございますが、栗原公民館建設工事の建築主体に関する工事請負契約の締結についてでございます。

栗原公民館の建設につきましては、令和8年1月のオープンを目指して取組を進めております。今回の工事は、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に規定する予定価格1億5,000万円以上の工事に該当するため、市議会の議決を受けるものでございます。

31ページから36ページまででございますが、新たに建設する栗原公民館の位置図、平面図及び立面図をそれぞれ掲載しております。

以上、簡単ではございますが、報告第12号の概要説明とさせていただきます。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問はありませんか。
よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、以上で日程第3、報告を終わります。
その他といたしまして、委員から何か御意見等はございますか。
よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 それでは、教科用図書の採択に関する議案の審査に入りたいと思いますが、議事の準備によりまして、暫時休憩いたします。
再開は11時05分といたします。

午前10時55分 休憩

午前11時5分 再開

○宮本教育長 会議を再開します。

関係部課長のみを説明員として出席させております。

それでは、議案第42号令和7年度に使用する広島県尾道南高等学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

本議案については、尾道南高等学校から浅藤校長先生の出席をお願いしております。

それでは、提案理由の説明を事務局からお願いします。

○金子教育指導課長 教育長、教育指導課長。令和7年度に使用する広島県尾道南高等学校用教科用図書の採択についての提案理由について御説明いたします。

高等学校の教科書採択は毎年行われることになっており、教科書の採択権が学校管理機関である教育委員会の職務権限に含まれているため、採択をお願いするものでございます。

尾道市教育委員会として、5月の教育委員会会議で教科用図書の採択基本方針を御承認いただき、それに基づいて、校内に校長、教頭、教務主任等から成る教科書選定会議を設置し、選定作業を行っております。

この後、尾道南高等学校校長から学校の経営方針、教科書選定の手順、選定結果等について報告をしていただきますので、御審議いただければと考えております。よろしく願いいたします。

○宮本教育長 ただいまのところまでで何か御意見、御質問はございますか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 ないようですので、それでは令和7年度に使用する広島県尾道南高等学校用教科用図書について、尾道南高等学校浅藤校長先生から御説明をお願いいたします。

○浅藤広島県尾道南高等学校校長 広島県尾道南高等学校の校長の浅藤直幸と申します。今年4月に着任いたしました。よろしく願いいたします。

まず、教科書を採択するに当たって、本校の概要について御説明申し上げたいと思います。

本校は広島県で唯一夜間定時制の独立校、そして尾道市については唯一の市立高等学校で、4年制の単位制の高等学校であります。創立は大正9年、本年度が104年目を迎える非常に古い伝統のある学校であります。

全校生徒につきましては44名、男子生徒が28名、女子生徒が16名ということになっております。学年ごとの人数でいきますと、1年生が15名、2年生が

12名、3年生が7名、4年生が10名、休学者が2年生に2名在籍しているということになります。

このとおり人数は少ないんですけども、小・中学校で不登校等を経験している生徒等、課題を抱えている生徒が多く、学び直しが必要な生徒がほとんどです。教科書採択に当たってもこの点が大きなポイントとなっております。

昨年度の卒業生9名につきましては、就職者が8名で、1名は継続して今取り組んでいるという状況です。

今年度の4年生は10名ですが、就職希望者が9名、ただ9名のうち既に3名は仕事をしているという状況です。1名が美容の専門学校進学を希望しております。

今1学期を終えたわけなんですけども、先ほど申し上げた中学校時代、ほとんど学校に行けてなかったという生徒が、この1学期、本校でほぼ無欠席で通したという生徒も少なくありません。

また、部活動においても、陸上部2名、バドミントン部2名、卓球部1名が地区大会を突破して、県大会に出場しております。そのうち陸上部の2名はさらに全国大会への出場を決めて、今映していただいております、これが事前に市長を表敬訪問した様子をホームページに載せております。こういう形で載せております。ケーブルテレビちゅピCOMにも取り上げていただいて、ニュースにもしていただいております。

これがちょうどお盆の時期の8月13日からあったわけなんですけども、全国大会の様子をこのたびアップをいたしました。全国大会ですから、なかなか壁は厚いものがあったわけなんですけども、向井君のほうは予選敗退ということになったんですが、それでも800メートルにつきましては、県大会の自分の記録を本番で13秒縮めるという自己ベストを出すとか、田口さんのほうは、走り高跳びで決勝に残って6位入賞、1メートル25を1回でクリアするという、これも練習ではクリアしたりしなかったりしたんですが、1回でクリアして、同じく1メートル25をクリアした生徒もいたんですが、彼女は1回目というところで、この6位入賞という形で賞状をいただいております。

リレーのほうは失格となっておりますが、これも予選突破したと思われたんですけども、その後、協議をされて、誰か分からないんですけども、4名のリレー選手のうち、これ広島県で組んでいるんですけども、ラインを踏んでいたり、出ていたということで失格になったということで、いいことも悪いこともいろんな経験をして、これは東京の駒沢オリンピック公園総合運動場という立派な競技場でやらせていただいたんですが、3泊4日の全国大会を経験してき

たという形になっております。

ちょっと戻りますと、また本校に、長期ではないんですけども、やはり休みがちな生徒も少なくなくて、学び直し、学びというところで学校経営方針にも授業への位置づけ、教育相談体制というものを中心に持ってこようということで、4月スタートしております。

こういった学校の状況を踏まえまして、こういった教科書が本校にふさわしいのかということで選定をしてみました。

続けて、説明をさせていただきたいと思いますが、教科書採択につきましては、令和7年度に使用する尾道南高等学校教科用図書採択についてという資料を御覧いただければと思います。

まず、1ページ目ですけども、こちらが今回採択をお願いする教科書申請の一覧全てになっております。詳細につきましてはまた説明をいたします。

続きまして、本校の教科書採択の流れですけども、3ページ目には本校の教科書採択の流れが出ておりますので、御覧いただければと思います。

まず、5月に決定された採択方針に基づいて、校内に教科書選定会議を設定しております。

教科書選定会議につきましては4ページを御覧ください。

教科書選定会議等についてという別紙様式1です。

選定会議としては、校務運営会議が選定会議を兼ねて選定しているという状況になっております。校務運営会議なんですけども、校長、教頭、事務長、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事、総務主任というメンバーです。

教科書選定は4回行いましたが、まずたくさんある教科書の中から、調査研究という形で、採択基本方針に基づいて、各教科用図書について、本校に適切であると判断されるもの3社、場合によっては2社になるんですけども、それに絞って選定会議において選定をしていったという形です。

教科書の選定に関わって、教職員以外の構成員について御説明いたします。

今年度より学校運営協議会がスタートしまして、先日、第2回目の会議を行い、採用予定教科書を全て見ていただきました。これがまだホームページに、私のほうで毎日いろんな話題をアップしており、タイトルは校長アイズという名前にしてるんですけども、7月26日の記事で、こういう形で、メンバーの方にはずらっと並べた形で見ていただきながら、かなり熱心に見ていただきました。そういう形で進めております。

選定した教科用図書及び選定理由書については7ページから掲載しております。

そして、今回の審議について御説明いたします。

資料5 ページの下側の表、令和7年度実施教育課程を御覧ください。

一昨年度から平成30年に告示された高等学校学習指導要領が施行されております。高等学校は学年進行で学習指導要領が実施されており、来年度は全学年が新学習指導要領に係る新課程となります。そのうち、昨年度御審議いただいた教科用図書については、前年度に引き続いて使用するものも含めて、現在、使用上支障がないと考えておりますので、このまま継続を考えております。

したがって、本日は3、4年生で来年度新たに実施する「国語表現」、「倫理」、「化学基礎」の3科目の教科用図書について御審議をお願いいたします。

○宮本教育長 浅藤校長先生、御説明ありがとうございました。

尾道南高等学校の概要や生徒の状況、そういったことも含めて、詳しく御説明をいただきました。

先ほどの御説明の中で、資料の6ページですけれども、去年の部分は継続ということでございますので、3学年、4学年において、「国語表現」、「倫理」、「化学基礎」のこの3教科が新しいところで、それ以外のところは去年から同じ教科書を使うということで問題ないと理解してよろしいでしょうか。

○浅藤広島県尾道南高等学校校長 はい。

○宮本教育長 分かりました。

ここで委員の皆さんにお諮りをしたいと思いますが、先ほど校長先生からございましたように、現在使用している教科書については特に問題がないということで説明がありました。現在の教科書については、引き続き採択をするという方向で整理させていただいていかどうか、またこれから3年生、4年生について、新たな採択をする3科目について質疑をさせていただくということでよろしいか、お諮りをしたいと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、異議がないようですので、校長先生、教科科目別に選定経過等について御説明をお願いいたします。

○浅藤広島県尾道南高等学校校長 国語科の「国語表現」であります。本校で選定したのは「大修館」の教科書です。

本校に入学する生徒は、多くは不登校など、先ほど申し上げたようないろいろな事情を抱えて入学してまいります。小・中学校で学ぶべき知識の理解がままならない状態であるという生徒も少なくありません。

「国語表現」の教科書を発行しているのは、「東京書籍」と「大修館」の2社ということになりましたので、この2社を比較するという形になりました。

「大修館」の教科書のほうは、この「東京書籍」に比べて、非常に基礎を徹底するという点を重視した構成となっているというふうに判断をいたしております。仮名使いとか敬語などということに対して、クイズ形式で問題を解きながら、楽しく言語の基本とか言語活動の基礎を学べるという工夫がなされております。本校の生徒に基本的な学びを提供できると考えております。

また、スクリーンに今から100ページを出してもらいます。

本校の生徒は、多くは卒業後、社会人になっていくという形になります。そういったときに、こういった100ページからの記載の志望理由書とか、自己推薦書という書き方という形で単元が設定されております。これも非常に分かりやすく、授業で取り扱いながら、または自分なりに読み込みながら自主的にできるという形、面接のコツとか、グループディスカッションの練習、さらには自己PRの方法まで丁寧に指南されております。先ほど申し上げたように、卒業後、ほとんどの生徒が社会人となっていく、そういった本校の実態を鑑みたときに最も適していると考えております。

また、公民科などとリンクしていくんですけども、127ページを出してください。

そういった社会人になっていくという中で、今はもう欠かせない、今もこうやって使わせてもらってますけども、「メディアを駆使する」という、そういった単元が設定されていて、「ネット社会との付き合い方」ということなど、今日的な課題についても、ほかの教科とも教科横断的に学習していくという形で、本校の実態により適していると考えて選定させていただきました。

以上です。

○宮本教育長 ありがとうございます。

「国語表現」について御説明をいただきました。

委員の皆様から御意見、御質問があればお願いいたします。

奥田委員。

○奥田委員 奥田です。

説明ありがとうございました。

教育課程を見せていただくと、尾道南高校では3年と4年で「国語表現」を履修するようになっていきます。「国語表現」という科目をかなり重視しておられるように拝見したんですが、そのあたりの狙いにつきまして、とにかく「国語表現」を通してどんな力をつけたいのか。今先ほど校長先生からも若干説明

いただきましたが、再度そのあたりの教育課程上の狙いについてお伺いしたい
と思います。

○浅藤広島県尾道南高等学校校長 ありがとうございます。

4年生のところは「国語表現」4単位となっておりますけども、これは3年
生のところで文学国語というのを履修しております。やはり国語力というのが
いろんなものの基礎になるだろうということで、かなり国語を来年の4年生は
多く履修しているということになっているんですが、その後、そうはいつでも
いろんな科のバランスを考えようというところで、4年生だけ多くなっている
んですけども、上のほうの令和5年から7年のところの教育課程が、これが完
成形ということになるわけなんですけども、国語を整理しているということなん
ですけども、それだけ国語力というものを重視していった社会人になっていくとい
うところで、国語力というところを重視していきこうというところで、その中
にあっても、この「国語表現」というのは、文章力とか、論理的思考であるとか、
自己発信力とか、そういうものを養っていくということを目的として創設され
た科目ということで、本校の生徒については、社会に出たときに特に必要とさ
れていく自己発信力、こういうのを身につけさせたいということを考えており
ます。

○奥田委員 ありがとうございます。

特に卒業生が就職する生徒が多いというところから、そういう文章力、ある
いは就職を意識した授業内容が多い今の「大修館」を選んでいるというような
説明でございました。その狙いというのは大いに賛同できるものがあります。

「東京書籍」と「大修館」と2社の教科書において、総合的に「大修館」の
ほうが生徒の実態に合っているというふうに判断されたということだろうと思
います。先ほども説明いただいたんですが、「東京書籍」と「大修館」の、よ
り違いといいますか、生徒に合っているところの部分でいいますとどのあたり
があるのかというのを御説明いただければと思います。

○浅藤広島県尾道南高等学校校長 巻頭の部分を見ていただきたい。

もちろん「東京書籍」も工夫されているんですけども、「大修館」が本校の
実態にというところで、巻頭のページに表現力を鍛えるための要素という形で
まとめてありまして、例えば、書いて説明する、書いてアピールする、身ぶ
り、手振りを使って、実社会に向けて人前で話すためにというふうな、項目ご
とに分かりやすく視覚に訴えて、捉えやすくなっているということ、これは
授業で扱うのはもちろんなんですけども、生徒があればどうだったかなってい
うところで、振り返りでテキストとして使っていくというような主体的な学習

にも適しているのではないかと、その部分がまたコンパクトにまとめられている、書く力、話す力、聞く力という形でまとめてあるというところで、どこを見ればどうだったかなという復習にもしやすいというところが非常に優れているのではないかと、本校の実態に合っているのではないかなというふうに捉えております。

○宮本教育長 よろしいですか。

ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、「国語表現」は「大修館」とすることで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、「大修館」を採択することに決定いたしました。

次に、「倫理」に入りたいと思います。

説明をお願いいたします。

○浅藤広島県尾道南高等学校校長 公民科の「倫理」は初めて履修させるという形になるわけなんですけども、公民科の「倫理」は「第一学習社」の教科書を選定しております。

これは3社を比較して、特にB5判という形で読みやすく、他社と比較して先哲の考え方が分かりやすく示されております。人生観とか世界観を確立する手がかりとなる内容となっております。

31ページをお願いします。

例えばですが、幾らか基本的なことを学んだ後、こういうふうに幸福であるとか、後のページには「愛」であるとか、「善」であるとか、「義務」であるとか、「正義」といったようなことについて先哲たちはどのような考え方をしてきたのか、そして自分たちはどういうふうにこれを考えていけばいいのかというような形で、非常にそういったものを確立していく手がかりとなるつくりになっているということが1つ挙げられます。

70ページをお願いします。

幾らか勉強した後、このような70ページにあるような、顔写真入りで思想の流れを示すイラストとか、ほかにも図表とか原典史料が非常に豊富であるというところで、基本的なもの、基礎的な知識を身につけさせたい本校の生徒にとって非常に適切な教科書であると判断をいたしました。

難解な漢字にはルビが振ってあるということ、これは他社でもそうなんです

けども、内容について、例えば「東京書籍」とか「清水書院」というところは、ある一定の知識が前提となっている書き方となっている説明が多々ありまして、難易度が少し高いのではないかなということがありました。「第一学習社」のところはそもそものところから説明してあるというような平易な書き方であるということが、より手に取りやすくて、丁寧な説明がされているというところで、本校の生徒の実態に合っているのではないかということで、「第一学習社」の教科書を選定したということです。

○宮本教育長 ありがとうございます。

それでは、委員の皆様から御意見、御質問をお願いいたします。

豊田委員。

○豊田委員 豊田でございます。ありがとうございました。

今校長先生から御説明いただきましたが、私も見せていただいて、一番読みやすくて、しかも入りやすいなという気はいたしました。「倫理」の授業はなかなか難しいですね。教科書によって知識を得るとか、そういう分かっていることを伝えていくとかというような学習ではなかなか難しいなと思うんですけども、授業の工夫として、例えば議論し合うとか、話し合うとか、自分の生き方について考え合うとか、そういった授業の手法については多分工夫なさるんだろうと思うんですけども、そのあたりにつきまして、教科書を使うということと、それから実際に倫理の授業をどう進めるかということにつきましての見解を教えてくださいたいと思います。

○浅藤広島県尾道南高等学校校長 ありがとうございます。

これは他の教科もそうなんですけど、本校の授業を進めていく中で、いろんな教員が工夫をしているということが現状です。本校の実態として、教科書のみでというような授業はまずなくて、教科書を使いながら、ワークシートを使いながら、または後で出てくるんですが、ICTも一部使いながら、そういった考え方を集めたり、また手前みそになるんですが、校長アイズの、私も授業はよく参観をしていますけど、例えば5月8日、これは「倫理」ではないんですが、同じく社会科の公共の授業が行われておりました。後で説明しようと思うんですが、ICT、1人1台という形には今なってないんですけども、利用しながら、または教室にはこういった大きなモニターが設置されておりますので、このモニターに映しながら、この授業では労働者の権利という形で勉強している中で、本人たちが社会人になっていくところで、賃金とか、雇用形態とかがどうなっているだろうかというのはモニターには求人票が映されておりました。求人票が映されていて、どういったことをそれぞれ注目するかなという

ところで、ワークシートに書かせていて、後で4人グループぐらいになって、あなたはどこを見た、私はここを見たっていうところで、そういったところでやっているような形がありました。

ですから、倫理という中でも、先ほどの幸福についてどう考えるかというようなことが投げかけていかれるんだろうと思いますし、実際に先ほどの教科書の219ページには、課題を探求しようという呼びかけの中で、「少子・高齢化社会の中で社会的な福祉を充実させるために必要なことは何か、あなたの考えをまとめてみよう」というような投げかけがあります。こういったものに対してそれぞれがどういったことを考えていって、それぞれ協働的な学習につなげていければというふうに考えております。

以上です。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、「倫理」は「第一学習社」とすることで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、「第一学習社」を採択することに決定いたしました。

最後に、理科、「化学基礎」に移りたいと思います。

説明をお願いいたします。

○浅藤広島県尾道南高等学校校長 「化学基礎」につきましては「東京書籍」の教科書を選定しております。

この「東京書籍」の教科書の特徴というのが、他社に比べまして、使いやすい見開き構成になっておりまして、豊富な資料とか、図版で生徒の学ぶ意欲を高めるという工夫がされているということが挙げられます。

また、基礎・基本が身につくようにというのは、これも同じなんですけども、身につくように、章ごとに確認テストというのが設けられております。さらに、探求のページというのを設けておりまして、よりステップアップしていきこうという生徒については、そういったステップアップ学習ができるように編集されておりまして、特に科の特性として、日常生活とか、未来社会とのつながりを意識したコラムを配置してありまして、自分で読んだりというようなことも配慮されていると。または、化学を生かした職業を紹介したりとか、SDGsを意識したりというふうな形で、興味が湧いてきた生徒について主体的に

学びにつなげるような工夫が随所に見られるというところが挙げられます。

それから、5ページには二次元コードの一覧が示されておりまして、中学校の学習内容とか資料、動画、アニメーションが見られるようになっております。これは、教科の特性を考えても非常に有効であると考えております。こういった二次元コードは他の教科書にもあるんですが、このように一覧になっているというところで非常に使い勝手がいいという形になっております。

じゃあ、今から動画を1つ見ていただければと思います。

花火の製造という動画があるんですけども、これを御覧いただければと思います。

[動画視聴]

○浅藤広島県尾道南高等学校校長 このように、製造過程とともに学習内容である物質の特徴など、目の前で起きている花火なんかがこういうふうな形で化学反応を起こしているっていうような実感を持って、それを授業の後とか、前に見ておく、先に見ておく、または後で見ていくという形で、興味関心が高まっていくんじゃないかというふうに考えております。

先ほども言ったんですが、他社も二次元コードはついているんですが、動画の充実度ではこの「東京書籍」が優れているというふうに判断をいたしまして、「東京書籍」を選定いたしております。

以上です。

○宮本教育長 ありがとうございます。

「化学基礎」について御説明をいただきました。

委員の皆さんから御質問、御意見をお願いします。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

先ほどの国語でもメディアを駆使するという単元があるということで、二次元コードを利用して動画を見るのは非常に有用だなと思うんですけども、先ほど校長先生がタブレットは1人1台ではないというような御説明があったと思うんですけども、そういった場合、学校ではどういうふうに動画を見るのか、家庭学習ではどういうふうに利用していくのか、もし分かれば教えてください。

○浅藤広島県尾道南高等学校校長 本校の場合は、尾道市の教育委員会より20台のタブレット端末を貸与していただいております。ですから、1日の授業の中でこの授業で使いますという形で計画を立てて、ダブらないように、必要に応

じて使い分けているというような形です。

先ほども見ていただいたんですが、各教室には大型のモニターが設置されているので、そういったところにつないで、一斉に見るということもできますし、生徒がスマホで自分で見るということもできます。

例えば、さっきのタブレットの使用で言えば、7月8日の私の記事では、この日は、保健の授業では、タブレットで配信された小テストをまずウォームアップとしてやっておりました。10分ぐらいかけて、これまで学んだウォームアップをやっていて、そして本題に入っていくと、ある資料が提起されて、これは健康水準が変化してきた背景について、2つの資料が出されて、それについてこれは何を表しているものかというのをまず個人で考えさせておりました。考えさせて、そして学び合いという形で、この1時間の中でICTの活用、協働的な学び、そしてそこに、右のほうの写真では支援の教員のほうがちょっと戸惑っているようなところにヒントらしきもの、こういうふうな見方もあるよねという形で見ているというような形を取っております。

じゃあ、5月27日のほうをすみません。

これはエキスパート活動という、生徒にも肯定感をもたせる意味もあってつけたんだと担当の教員は言うておりましたが、これもなぜ田んぼにレンゲを植えているのかという大きなテーマが示された後に、映ってないんですけども、タブレットを使いながら、それぞれの専門家をつくっていくという形で、もうちょっと下げてもらって、レンゲの特徴、根粒菌、そして農業に必要な3要素という3つの分野を徹底的に調べていくと、それぞれのグループが徹底的に調べて、そしたらこの3つの知識のエキスパートができるということで、それを今度はその3人が合わさって、じゃあ何でレンゲ畑になっているのかという形にもっていくという、ジグソー法のような形をエキスパート活動と名づけて、君たちはその分野のエキスパートなんだという形で、1つの最後の答えにつなげていくというような形を取っております。

質問の答えとしては、その20台をうまく回しながらやっているということと、生徒が持っているスマホ等、それで動画等も見たりしながらという形で、あと、総合探究なんかで尾道の魅力について調べていこうという形で1つまとめたという授業もありました。

以上です。

○宮本教育長 よろしいでしょうか。

ほかにございますか。

村上節子委員。

○村上（節）委員 村上です。

子供たちにとって実験っていうのが結構楽しくて興味を引くものになるんじゃないかなと思うんですけど、「東京書籍」の教科書にはそういう実験で何か特徴的なものがありますか。

○浅藤広島県尾道南高等学校校長 本校においては、生徒の興味を引きつける意味で、実験というのもできる範囲で取り組んでおります。

これが7月2日の記事になるんですが、これは科学と人間生活ですね。豚の眼球を、実物なんですけども、それを解剖していくという実験を、最初は本当に恐る恐る、なんだこれはという形だったんですが、解剖ばさみとかピンセットを使って徐々にやっていきながら、ガラス体が実はゼリー状だったんだというのが分かったときはちょっと歓声というか、ちょっとどよめきが湧いたりとか、右のほうに書かれているこれは観察メモなんですけども、これすごいなと思いつつながら、私も撮らせてもらっていいかなっていうんで撮らせてもらって、非常に熱心に、この生徒は中学校をほとんど行けてなかったという生徒なんですけども、この授業を非常に前向きに取り組んでおりました。

最後のところでは、こういった実験、動物とか、動物を食べることについてどう思うか、もう人間は動物を食べていくわけですから、そういうことについてもフォローといいますか、そういった質問も投げかけられておりました。

「東京書籍」については、実験の動画なんかも結構ありまして、実際に教室ではできないような電子の実験とかですね。

〔動画視聴〕

○浅藤広島県尾道南高等学校校長 という形で、動画のところ、なかなか教室ではできないなというようなことも多く取り入れられているということで、「東京書籍」がいいんじゃないかというふうに考えております。

○宮本教育長 よろしいでしょうか。

ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、「化学基礎」は「東京書籍」とすることで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、「東京書籍」を採択することに決定いたしました。

以上で令和7年度に新学習指導要領に基づいて、新3年生、4年生が新たに学習する3科目の教科用図書が決まりました。

次に、その他の科目で使用する教科用図書についてでございますが、最初の浅藤校長先生からの御説明では、現在使用している教科用図書に特に支障がないということございました。

それで、確認ですけれども、資料の6ページの採択種目一覧表を御覧いただいて、次年度も継続して使用する教科用図書は、1年生の「現代の国語」は「第一学習社」、そして1年生の「公共」は「第一学習社」、1年生の「数学Ⅰ」、「東京書籍」、理科の「科学と人間生活」は「東京書籍」、そして「保健・体育」、「大修館書店」、「美術Ⅰ」の1年生、「日本文教出版」、「英語コミュニケーション」の1年生、「三省堂」、家庭科の「家庭総合」、「教育図書」、学校設定科目である「情報基礎」は「日本文教出版」となっております。

続いて、2年生ですけれども、国語の「言語文化」は「第一学習社」、「歴史総合」は「帝国書院」、「生物基礎」は「東京書籍」、「数学Ⅰ」、「保健・体育」、「英語コミュニケーションⅠ」、「家庭総合」、「情報Ⅰ」については、1年時に購入した教科用図書を引き続き継続して使用するという事になっております。

そして、3年生に入りますが、先ほど採択されました「国語表現」に加えて、「地理総合」は「帝国書院」、「数学A」は「東京書籍」、「地学基礎」、「東京書籍」、「書道Ⅰ」、「光村図書」、「英語コミュニケーションⅡ」、「三省堂」、「保育基礎」、「教育図書」、2年次から継続といたしまして、「体育」は「大修館書店」、「情報演習」は「日本文教出版」の教科用図書を継続して使用するという事でございます。

4年生に入ります。先ほど採択された「国語表現」と「倫理」と「化学基礎」に加えまして、継続使用として、「数学探求」は「東京書籍」、「体育」は「大修館書店」、「英語コミュニケーションⅡ」は「三省堂」、「保育基礎」は「教育図書」、「情報演習」は「日本文教出版」となります。

以上、現在使用している教科用図書を引き続き採択することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

それでは、浅藤校長先生、長時間にわたり丁寧な御説明をいただき、ありがとうございました。

以上で議案第42号の審議を終了いたします。

○浅藤広島県尾道南高等学校校長 ありがとうございます。

○宮本教育長 以上で議案42号の審議を終了し、議事の都合により暫時休憩いたします。再開は午後1時からといたします。

午後0時0分 休憩

午後1時0分 再開

○宮本教育長 それでは、会議を再開いたします。

議案第43号令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

それでは、提案理由の説明をお願いします。

○金子教育指導課長 議案第43号令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択について、提案理由について御説明いたします。

令和6年度をもって、義務教育諸小学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条に定める同一の教科用図書を採択する期間が終了するため、尾道市教科用図書採択に関する規則第2条の規定により、令和7年度から使用する中学校用教科用図書について採択を求めるものでございます。

この選定委員会審議結果報告書は、5月の教育委員会会議において決定された本市の採択基本方針の2、採択基準に基づいて調査研究を行い、尾道市教科用図書採択事務に関する規則第3条第1項の規定により選定委員会から報告のあったものでございます。

ただし、「社会科（歴史的分野）」の株式会社学び舎については、見本本が届いていないため、第1回教科用図書選定委員会議により審議の対象としないことを確認しております。そのため、審議報告書に記載はございません。

この後、審議結果を報告いたしますので、種目ごとに御審議いただければと考えております。

また、教科書展示会におけるアンケートについては、選定委員、教育委員会委員の皆様に供覧しております。

それでは、ただいまから令和7年度尾道市立中学校で使用する教科用図書について、これまでの選定委員会の審議内容を踏まえ、選定委員会で作成された報告書に基づいて説明をいたします。

報告書は、教育委員会会議で議決された採択基本方針の採択基準に定められた第1から第5までの観点に沿って、それぞれの特徴を表したものを総合的な

所見の中に記載しております。

また、特に他の発行者と比較して評価できると考えたものには所見の前に丸をつけ、その他のことについては中点で示しております。

ただし、尾道市の採択基本方針に基づき、尾道教育総合推進計画の基本方針や重点目標との関連を考慮していること、またそれぞれの教科や種目の特性から、一つ一つの観点の重みが均一であるとは限らないことから、丸の数と総合的な評価が必ずしも比例するというにはなりません。特に、尾道の子供が学ぶのにふさわしいものに丸をつけております。

それでは、これから各教科、種目ごとに、それぞれの発行者の中で、丸をつけたところとその理由を中心に御説明申し上げます。

では初めに、「国語」について説明します。

報告書の8から10ページを御覧ください。

「国語」の教科用図書の発行者は4社です。

丸をつけたところは、「東京書籍」につきましては、第1の観点の②と第5の観点の⑫、「三省堂」につきましては、第2の観点の④、第3の観点の⑧、第5の観点の⑫、「教育出版」につきましては特にありませんでした。「光村図書」につきましては、第1の観点の①、第5の観点の⑫です。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは、「東京書籍」と「三省堂」と「光村図書」です。この3社について具体的に説明いたします。

ではまず、「東京書籍」です。

第1の観点、（ア）知識及び技能の習得の②情報の扱い方に関する事項です。

情報と情報との関係の捉え方や比較や分類、関連づけなどの情報の整理の仕方を、生徒にとって身近な例を題材にして、体系的に学ぶことができるようになっています。また、単元間の学習項目の連続性が考慮されています。

次に、第5の観点、（オ）内容の表現・表記、⑫デジタルコンテンツの活用です。

話すこと、聞くことのよい例、悪い例の比較動画や古文の朗読動画があります。ゲーム、クイズ形式の文法問題があり、生徒が意欲的に取り組めると考えられます。また、テーマごとに語彙を検索でき、意味や用例を確認しながら語彙力を高められる工夫があります。

〔動画視聴〕

○金子教育指導課長 このようなインタビュー動画等が入っております。

次に、「三省堂」です。

丸をつけたところは、第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、④自分の考えを形成する活動の工夫です。

单元ごとに身につけたい思考力、判断力、表現力の具体を分かりやすく示しています。各学年の「話す、聞く」において、学校生活を話題にしたグループディスカッションの单元が設定されており、協働的な学習活動を行うための話合いのスキルが1年次から系統的かつ具体的に示されています。

次に、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑧学習を振り返るための工夫です。

单元冒頭の「学びの道しるべ」、この「学びの道しるべ」で、单元目標と学習活動の手順を分かりやすく示し、「思考の方法」で国語科で身につけたい思考の方法を示しています。教材末の「学びを振り返る」では、目標で示したキーワードを振り返りの視点として学習の定着が図られるようにしています。

次に、第5の観点、(オ)内容の表現・表記のうち、⑫デジタルコンテンツの活用です。

話すこと、聞くことの活動動画や作文例などを見ることができ、教材に応じたワークシートや漢字と文法に関するデジタルドリルがあり、生徒が自主的に学習に取り組むことができます。話すこと、聞くことの良い例、悪い例での活動動画や作文例を見ることができます。活動の具体をイメージすることができます。教材に応じたワークシートや漢字と文法に関するデジタルドリルがあり、生徒が自主的に学習に取り組むことができます。

[動画視聴]

○金子教育指導課長 次に、「光村図書」です。

丸をつけたところは、第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、①言葉の特徴や使い方に関する事項です。

資料として語彙ブックがあり、描写、言動、思考、コラムという分類で、学年に応じた語句が整理されています。また、デジタルコンテンツに「言葉の宝箱(小学校)」があり、語彙力を鍛えようとしています。こちらです。

次に、第5の観点、(オ)内容の表現・表記のうち、⑫デジタルコンテンツの活用です。

教材ごとの二次元コードで動画や関連資料を見ることができるほか、C B T形式の問題があり、回答のテキストを入力、自己採点ができ、生徒の学習に役立つと考えられます。また、発展問題も用意されており、学習の定着が図られます。このように、自分で入力をしていくようになっています。

以上が「国語」についての報告です。

○宮本教育長 それでは、委員の皆様から御意見、御質問をお願いいたします。

奥田委員。

○奥田委員 委員の奥田です。

国語について説明がありました。選定委員会の報告書を基に、特に優れている観点については丸を示しているということで、その丸があるところについての説明を今いただきました。

選定委員会の委員長さんのほうからは、選定委員会の内容をお聞きする中で、丸の数ということにつきましては、3つ丸がある、優れている、あるいは2つ丸がある、優れている、丸がない教科書もあるという中で、丸があるものというのはかなり優れていると、3つあろうと、2つあろうと、あまり大きな差はないというような説明をされました。これは全ての教科に関わる観点だと思いますので、一応そういう見方でこの報告の評価を把握させてもらうということでよろしいでしょうか。課長さん、ちょっとお聞きします。

○金子教育指導課長 今奥田委員が言われたとおり、選定委員会においては、丸がついている特徴的なものの中であれば、どれを採択されても本市の子供たちにふさわしい教科書であるということを会の中で確認しておりますが、それ以外のものについても審議の対象になるということで、この場において協議して決定していただければと考えております。

○宮本教育長 ほかにございませんか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

ちょっと個人的な話になるんですけども、「三省堂」の内容で防災データというくだりがありまして、巨大地震注意が出てたところなんですけども、教科に関係なく、この防災に関しては、いろんな機会を通して生徒に伝えていくべきじゃないかなと思っております。また、ここでは、正常性バイアスのことにも触れてますし、尾道では平成30年に4名の方が災害で、関連死も含めて亡くなっておりますので、自分のこととして捉えていただきたいなと思っております。

そして、俳句のところで夏井いつき先生の動画があるんですけども、この先生も中学校時代に俳句に触れて、この道に進みましてというようなことを言っておられたので、子供たちとっても非常にいいのかなとは思いますが。

ただ、ここで出てるのが、藤本さんのお話があって、藤本さんは実は昨年、当て逃げ事故を起こして、今年の1月に罰金刑になったばかりなので、何年も前だったらいいんですけども、今年の話ですのでどうかなと思っております、ちょっとまずいかなと。例えば学校の先生が、去年、当て逃げ事故をして、今年罰金になったといったら、もうこれだけじゃ済まんのかなと思ったりもいたしますので、そこは皆さんどうなのかなと思っております。ちょっとそぐわないかなと、教科書としては非常にいいんですけども。

○宮本教育長 「三省堂」の3年生の75ページなんですけど、ここに藤本敏史さんの俳句が載ってるということなんですけど、藤本さんは、先ほどお話があったように、そういった状況にある方だということで、これについて、委員の皆さん、いかがでしょうか。

奥田委員。

○奥田委員 藤本敏史さんの事案ですけれども、昨年度あってということで、普通教科書から考えれば、この方の部分のところはカットしてもいいんじゃないかなと、それが教育的な配慮ということになると思うんですね。特に内容が当て逃げということですから、普通不注意でたまたまそういう事故になりましたというのとは違い、意図的な当て逃げということは悪意がかなりあるという事案だろうと思います。そういう方の作品が、ここへ教科書75ページ、添削という形で載ってるんですね。ですから、私から考えれば、そういうことを踏まえて、夏井いつきさんの作品は残して、添削の部分排除して教科書をつくるぐらいのそういう配慮が必要じゃなかったかなと思います。

ですから、そういう最近の事案があったにもかかわらず、この文章を残して検定に出しているということ、教科書会社からすると教育的な配慮、そして教科書の重みということを考えると、私は不適切ではないかというふうに考えます。

○宮本教育長 ほかの委員さんはいかがでしょうか。

村上節子委員。

○村上（節）委員 村上です。

この藤本さんはもう既にテレビにも出られたり、反省の念もしっかり述べられたりしているので、私はあまり罪っていうところを強調し過ぎると、一度罪を犯した人はもう公的な場に出ることができないのか、社会復帰できないのか

というのがあるので、もしこれが採択されたら、それはそれで使ってもいいんじゃないかなというふうに思います。

○宮本教育長 豊田委員。

○豊田委員 豊田でございます。

今意見が出ておりましたけれども、「三省堂」のそういう難点といいますか、引っかかる部分があるとして、先ほど課長さんが挙げておられた「光村図書」と「東京書籍」について考えてみると、特に「光村図書」については学習の過程といいますか、子供たちが学んでいく過程が、捉えるとか、読みを深めるとか、それから振り返るとか、そういった学習過程が、物語文にしても説明的な文章にしても同じようなスタンスで全体を通して枠組みが決められていて、子供たちが自ら学んでいくのには非常にこの「光村図書」がいいかなと思いました。

それと、教材が非常に内容があるといいますか、そういう面ではよかったと思いますし、「東京書籍」の場合も、先ほど課長さんが言っておられたように、漢字の部分であるとか、手引であるとか、文法であるとか、そういったことが分かりやすいようにそれぞれに整理されて載せられているので、それはそれでいいと思うんですけど、結論を言いますと、1つ引っかけのある部分については考えていけないといけないかなというふうに思いますのと。

じゃあ、他の2社が「三省堂」よりも劣っていて、取り上げたらいけないなというふうなことじゃなくて、むしろほかの観点から見たときに非常に優れているなという点がありますので、そういうふうに、今回はその部分は考慮が要るかなというふうに思います。

以上です。

○宮本教育長 私も「三省堂」の教科書を見て、子供たちの主体的に学ぶ、意欲を育てる教科書になっているなと思いますし、いろんな意味で優れた教科書だなということは理解をしているんですけども、何人かの委員の方がおっしゃられたように、尾道としてそうした疑義の生じる可能性のある教科書を採択するというのはやはりどうなのかなというふうに思いますので、もし委員の皆様の御了承がいただければ、「三省堂」は今回は外させていただいて、今お話のあった「東京書籍」、そして「光村図書」というところで少し皆さんの御意見をいただいたらどうかというふうにも思うんですが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、「三省堂」は一旦外させていただいて、「東京書籍」ある

いは「光村図書」の優れた点について少し議論をしたいと思うんですが、いかがでしょうか。

奥田委員。

○**奥田委員** 「光村図書」の教科書を見ますと、いわゆる「話す」、「聞く」、「書く」、「読む」という教科の目標が非常に明確に表されていて、バランスよく教材が配置されているように思います。「光村図書」の教科書を通して学んでいけば、国語の総合的な力を養成する、そういう編集になっているというふうに思います。

また、併せまして、「読む」というところの中の文学教材、小説でありますとか、エッセイでありますとか、非常に中学生にふさわしいような、よく精選されたいい教材を選んでいるというふうに私は評価できると思います。

○**宮本教育長** ほかに「光村図書」で付け加え等ございますか。

じゃあ、なければ「東京書籍」はどうでしょうか。

村上正則委員。

○**村上（正）委員** 村上です。デジタルコンテンツが多いのは、本当言うと「三省堂」が583ほどあって、そこは外れたんでいいんですけども、あと「東京書籍」が415ほどあります、「光村図書」は350ほどなので。教科書の情報量は、紙媒体よりもデジタルコンテンツのほうが子供たちにも分かりやすいし、長期休暇、そして連休等があれば、それで自習ができるのではないかなと思います。ですから、確かに「光村図書」のほうはC B T形式の問題があって、そこで自分で理解度が分かるというようなことができるんですけども、デジタルの多さからいうと、「東京書籍」かなと思います。

○**宮本教育長** ほかにいかがでしょう。

村上節子委員。

○**村上（節）委員** 私は「光村図書」がいいなと思っていて、それは先ほど説明していただいたみたいに語彙ブックとか、説明の中にはなかったんですけど、開いて4ページ目ぐらいのところに「思考の地図」といって、開いて思考を広げるといのが大きく表になってる部分がありまして、似たようなものが「東京書籍」のほうにもあったんですけど、開いて全面で見れるというのが頭の中で順序立てて物事を捉えていくのに使いやすいのかなと思いました。

○**宮本教育長** いかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** では、出尽くしたようですので、「光村図書」と「東京書籍」と2つの意見がありますので、それではそれぞれの発行者について挙手によって

採決したいと思います。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、「光村図書」に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○宮本教育長 「光村図書」が賛成多数により承認することに決しました。

では続いて、「書写」に移りたいと思います。

説明をお願いいたします。

○金子教育指導課長 では、「書写」について説明をいたします。

報告書の11から13ページを御覧ください。

「書写」の教科用図書の発行者は4社です。

丸をつけたところは、「東京書籍」につきましては、第1の観点の②と第5の観点の⑨です。「三省堂」につきましては、第2の観点の③、第3の観点の④、「教育出版」につきましては特にありませんでした。「光村図書」につきましては、第1の観点の①、第3の観点の⑤、第4の観点の⑦です。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは、「東京書籍」と「三省堂」と「光村図書」です。この3社について具体的に説明します。

まず、「東京書籍」は、第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、②文字の書き方の示し方です。

筆脈を点線で示しています。また、朱墨で筆使いを示し、ポイントに4つの動きを示すアイコンで筆使いを示しているため、行書の字形の整え方、運筆の際の圧力のかけ方、筆脈を意識した点角のつながりなどの特徴を確認しながら学習を進めることができます。

次に、第5の観点、(オ)内容の表現・表記のうち、⑨デジタルコンテンツの活用です。

該当箇所の二次元コードからコンテンツにアクセスできる書写テストに回答でき、定着度を自分で確認できるようになっています。

次に、「三省堂」です。

第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、③目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫です。

手紙の構成を、手書きの場合とパソコンで書くときの構成も踏まえて示しているのも、実生活と関連づけて考えやすくなっています。また、手書きの構成、横書きでは、パソコンで書く場合についても触れており、他教科の活動にも関連する学習になっています。

次に、第3の観点、（ウ）主体的に学習に取り組む工夫のうち、④他の学習や生活の様々な場面につなげるための工夫です。

グループ新聞や情報誌をつくる單元では、協働的な活動が設定されており、相手意識を持ち、書体や文字の大きさを選択することを教えています。

最後に、「光村図書」です。

第1の観点、（ア）知識及び技能の習得のうち、①姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方です。

書写ブックではスタートブックとして、姿勢、筆記具の持ち方、用具の準備、片づけなど、学習活動の基本的なことをきちんと教えています。「タブレットを活用しよう」というコーナーを設定し、学びを深めるためにタブレットを活用する際の姿勢や持ち方を動画で示し、また書いている際の姿を撮影して、互いに確かめ合ったり、書いた文字を撮影して自己評価したりする活用方法を紹介しています。SDGsと書写の関連づけがあり、SDGsの視点で考えることもできます。また、左利きの人の用具の準備写真が掲載されており、左利きの生徒への配慮もあります。

次に、第3の観点、（ウ）主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑤学習の見通しを立てるための構成上の工夫です。

行書の特徴を4つに整理し、「行書スイッチ」のイラストを用いることや、筆使いを擬音語で示すことで、文字の書き方への理解を深めるとともに、書く楽しさを感じることができます。図版だけで示すより分かりやすい工夫となっています。

〔動画視聴〕

○金子教育指導課長 続いて、第4の観点、（エ）内容の構成、配列、分量のうち、⑦単元、教材等の配列、分量です。

楷書、行書の学習を経て、文字を使い分けることや日常に役立つ書式の学習という配列になっているため、学習によって身につけることの見通しが持てるようになっています。また、書写ブックを活用して、書く力の定着を図ることもできます。

以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いします。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

先ほど「国語」は「光村図書」ということになったんですけども、「書写」

の場合はどうなのでしょう。同じほうがいいのか、違って関係ないのか、つながりのほうはどんなでしょう。

○金子教育指導課長 別々でも問題はないと調査員から聞いています。「書写」で身につけたい力という視点が大切であると考えております。

○宮本教育長 よろしいでしょうか。

ほかにございますか。

村上節子委員。

○村上（節）委員 行書については中学生で初めて学習すると思うんですが、使いやすい教科書はどれとかというのがありますか。

○金子教育指導課長 「光村図書」は、1年生、行書の学習のスタートに当たり、行書の特徴を4つに整理し、「行書スイッチ」を提示し、生徒が主体的に考え、文字の書き方への理解を深められるように工夫しています。先ほど動画でも見ていただいたところですが、このような工夫がされていますので、「光村図書」であるというふうに考えております。

○宮本教育長 豊田委員。

○豊田委員 豊田でございます。

「光村図書」の中で筆の持ち方であるとか、基本的な姿勢であるとか、それから基本的なことが詳しく示されていたと思います。小学校では3年生から毛筆に入りますけれども、これが学年が上がるにつれて筆の持ち方がきちっとできていない場合は、もうずっとそういう形でいくことが多いんですね。とりわけ小筆の持ち方等については、持ち始めたときの癖というんですか、そういったものがずっと続いていくことがありますけれども、そういう基礎的なところをきちっと絵や写真を入れながら、しかもタブレットで見ながら学習していくということが定着していくのではないかなというような気がしますので、そういったところを大事に扱っているのが非常に評価すべきところだったと思います。

以上です。

○宮本教育長 奥田委員。

○奥田委員 奥田です。

私も「光村図書」の教科書がいいのではないかなと思っております。教科書の分量としては3社の中で一番多いということで、いろんな形での文字の書き方を学ぶことができると。それから、先ほどありましたが、基礎・基本のところも丁寧に書かれている。そして、説明にもありましたが、「行書スイッチ」というような形で楷書から行書にするという、そういうところも動画で見れ

る、子供たちがぜひやってみたいなと思うような、そういうつくりになっていると、いわゆる書く楽しさを理解できるような教科書になっているように思います。そういう点で、「光村図書」が私はよいというふうに思っております。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

私は、今委員さんが言ってくださったこと以外で言うと、やはり左手用、左利きの生徒さんへの配慮というのも「光村図書」はすばらしいなと思って、付け加えさせていただきたいと思います。

では、ほかにはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、以上で「書写」の質疑を終わって、採決に移りたいと思います。

「書写」は「光村図書」ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、御異議なしと認め、「光村図書」を承認することに決しました。

続いて、「社会（地理的分野）」について説明をお願いします。

○金子教育指導課長 「社会（地理的分野）」について説明をいたします。

報告書の14から16ページを御覧ください。

「社会（地理的分野）」の教科用図書の発行者は4社です。

丸をつけたところは、「東京書籍」につきましても、第1の観点の①、第5の観点の⑩、「教育出版社」につきましてもありません。「帝国書院」につきましても、第1の観点の①、第2の観点の④、第4の観点の⑧、「日本文教出版」につきましても、第1の観点の①、第3の観点の⑦でした。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは、「東京書籍」と「帝国書院」と「日本文教出版」です。この3社について具体的に説明します。

まず、「東京書籍」は、第1の観点、（ア）知識及び技能の習得のうち、①学習課題の示し方です。

見開きごとにタイトルと生徒の興味を引く副題、どのような、どのようにといった学習課題を示しており、生徒は興味を持って学習に臨むことができるとともに、あらかじめ何を理解すればよいかが明確となっています。また、ページ下部に「チェック」「トライ」が設けられており、知識の定着と深化に効果が期待できます。

次に、第5の観点のうち、（オ）内容の表現・表記のうち、⑩掲載されてい

る情報を精選し、視点を明確にする工夫です。

本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の掲載部分を色分けしており、本時の活動において着目すべきことに意識を向けさせることができるようになっていきます。また、円グラフや帯グラフには、文字や数字を入れたり、複数のデータを掲載した折れ線グラフはデータごとに色を変えたりするなど、どのような生徒にとっても分かりやすいユニバーサルデザインに配慮したつくりとなっています。

次に、「帝国書院」は、第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、①学習課題の示し方です。

見開きごとにタイトルとどのような、どのようにといった学習課題を示しています。加えて、思考を焦点化させる表現で章全体を通した問いを掲載しており、見開きの学習内容に係る問いだけでなく、生徒は章全体の学習を通してどんな知識や技能を習得すればよいかを理解した上で学びを進めることができるようになっていきます。また、ページ下部に、「確認しよう」「説明しよう」という欄が設けられており、知識の定着と進化に効果が期待できます。

次に、第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、④見方、考え方を働かせるための工夫です。

巻頭に地理的な見方、考え方を設定し、見方、考え方として、位置や分布、場所、人間と自然の関わり、他地域との結びつき、地域の特徴を示しています。地理的な見方、考え方を働かせて、自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりする特設ページ「アクティブ地理」を設けています。見方、考え方があらかじめ示されることにより、何を意識して考えればよいか手がかりにすることができ、かつ深い思考に結びつけることができるようになっていきます。

次に、第4の観点、(エ)内容の構成、配列、分量のうち、⑧単元や資料等の配列、分量です。

巻頭ページで、地理的な見方、考え方や考えを整理する方法として、マトリクス、ベン図、ウェビング、ステップチャートなど、4種の思考ツールとその活用方法を示しており、効率的かつ深く考えていくことができるようになっていきます。

次に、「日本文教出版」です。

第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、①学習課題の示し方です。

見開きごとにタイトルとどのような、どのようにといった学習課題を示しています。学習課題から見方、考え方へつなげる表示があり、生徒の深い学びに

結びつけることができます。また、学習課題については、右ページ下部の「確認」「表現」で知識の定着と深化に効果が期待できます。

次に、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑦課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫です。

単元の導入で2ページを使用し、学習の内容、問い、学習の流れ、見方や考え方、小学校との関連などを掲載することで、生徒にとっては探究的な学習活動をより主体的に行いやすく工夫されています。

以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いします。

村上正則委員。

○村上(正)委員 村上です。

観点が3つ丸がついてるのは「帝国書院」だけなんですけども、どのように違うのか。先ほど課長がおっしゃられたようなことなんだろうとは思いますが、そんなに差があるのかどうか、そのところはどんなでしょうか。

○金子教育指導課長 地理的な見方、考え方があらかじめ紹介されており、何を意識して考えればよいのかの手がかりとなり、より深い思考に結びつけることができるように「帝国書院」はなっております。

また、4種類の思考ツールが示され、思考する場面で課題に対応したツールを活用できるようになっているところも優れている点であると捉えています。

○宮本教育長 よろしいでしょうか。

ほかにございますか。

村上節子委員。

○村上(節)委員 「社会科」では5つ観点があると思うんですけど、その5つのうちどの観点が一番重要とかというのってありますか。

○金子教育指導課長 これまでの「社会科」では覚えること、つまり知識が大切であるとされてきましたが、現在の学習指導要領では、「社会科」においても、思考力、判断力、表現力が大切であると示されています。ですので、第2の観点である(イ)思考力、判断力、表現力等の育成、これが重要であると考えています。

○宮本教育長 いいですか。

ほかにいかがでしょう。

奥田委員。

○奥田委員 「帝国書院」の教科書を見ますと、2ページで1単元というか、非常にすっきりとした構成になっており、最初のところで学習課題を明確にし、

そして単元を学んだ後、具体的には「説明しよう」「確認しよう」というような形で、非常に学習者にとって学びやすい、いろいろなものが主体的に学びやすい、そういうような教科書になっているように思いました。

○宮本教育長 豊田委員。

○豊田委員 豊田でございます。

「帝国書院」の場合は、生徒が学んでいくのに学び方が顕著に示されているように思いました。特に思考ツールを挙げて、そして地理的な見方、考え方を育てるのに、整理、分類、比較、分析などを応用して学んでいけば、地理的な見方、考え方が育っていくだろうというふうな形で教科書が整理してあるように思います。

それから、今挙げてありますけれども、そこに、ベン図であるとか、マトリクスであるとか、それからウェビングであるとか、ステップチャートですかね、そういったもの、これは思考ツールはほかの教科にも使いますけれども、これらを使いながら地理をまとめていく、学んでいくというふうなことが容易にできるかなというふうなことを思いました。

以上です。

○宮本教育長 今「帝国書院」の良さっていうところでお話がありましたが、ほかにはいかがでしょうか。

私は、「地理」という科目で大切なのは地理的な見方、考え方、これをどう育てるかだと思うんですけれども、その中で、「帝国書院」は位置とか、あるいは分布とか、あるいは他の地域との関係で考えると、そういったやはり地理的な見方、考え方を育てるような教科書の工夫が随所に見られるというところで優れているのではないかなと思っています。

「帝国書院」以外で何か御意見がおありの方はいらっしゃいますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、以上で「地理的分野」の質疑を終わり、採決に移りたいと思います。

「社会（地理的分野）」は「帝国書院」ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、そのように決しました。

続いて、「社会（歴史的分野）」に移りたいと思います。
説明をお願いします。

○金子教育指導課長 「社会（歴史的分野）」について説明をいたします。

報告書の17から22ページを御覧ください。

「社会（歴史的分野）」の教科用図書の発行者は8社です。

丸がついたところは、「東京書籍」につきましては、第1の観点の①、第2の観点の④、第5の観点の⑩、「教育出版」につきましては、第1の観点の①、第5の観点の⑩、「帝国書院」につきましては、第2の観点の⑤、第3の観点の⑥、「山川出版社」についてはありませんでした。「日本文教出版」につきましてもありませんでした。「自由社」につきましてもありませんでした。

「育鵬社」につきましてもありませんでした。「令和書籍」につきましてもありませんでした。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは、「東京書籍」と「教育出版」と「帝国書院」です。この3社について具体的に説明いたします。

まず、「東京書籍」です。

第1の観点、（ア）知識及び技能の習得のうち、①学習課題の示し方です。

見開きごとにタイトルと副題、どのような、どのようにといった学習課題を思考を喚起する表現で示しており、生徒が興味をもって学習に臨むことができるようになるとともに、あらかじめ何を理解していればよいか、これが明確になっています。また、ページ下部に「チェック」「トライ」が設けられており、学習課題に対して理解できているかどうか、確認ができるようになっています。

続いて、第2の観点、（イ）思考力、判断力、表現力等の育成のうち、④見方、考え方を働かせるための工夫です。

歴史的な見方、考え方の解説を掲載し、特設ページでは、歴史的な見方、考え方に基づいた課題を示しており、歴史の流れの推移、別のこととの比較、相互の関連、現在とのつながりなど、生徒がどのような点に着目して、どのように考えるか、科学的な思考を行えるよう設定されています。章のまとめでは、歴史的な見方、考え方に基づいて、思考ツールを活用しながら考えを深めていく課題が示されています。

次に、第5の観点、（オ）内容の表現・表記のうち、⑩掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫です。

本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の掲載部分を色分けしていることで、現時の活動において着目すべきことに意識を向けさせることができます。また、円グラフや帯グラフには文字や数字を入れ、

複数のデータを掲載した折れ線グラフはデータごとに色を変えるなど、どのような生徒にとっても分かりやすい、ユニバーサルデザインに配慮したつくりとなっています。

次に、「教育出版」です。

第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、①学習課題の示し方です。

見開きごとにタイトルと副題、どのような、どのようにといった学習課題を示しており、生徒が興味をもって学習に臨むことができるようになっていきます。また、あらかじめ何を理解していればよいか明確になっています。ページ下部に「確認!」「表現!」が設けられており、学習課題に対して理解できているかどうか、確認ができるようになっています。

次に、第5の観点、(オ)内容の表現・表記のうち、⑩掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫です。

本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の掲載部分を色分けしています。また、円グラフや帯グラフには文字や数字を入れ、複数のデータを掲載した折れ線グラフはデータごとに色を変えるなど、どのような生徒にとっても分かりやすい、ユニバーサルデザインに配慮したつくりとなっています。

次に、「帝国書院」についてです。

第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、⑤学習のまとめの工夫です。

章の問いに対して学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめさせています。章の問いが改めて示してあるなど、これまでに学んだ知識を統合しながら、章を振り返ることができるようになっています。

次に、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑥単元の導入における工夫です。

章の冒頭1ページを導入に使っています。章の問いを示した上で予想を書かせます。また、ページ右下に節の問いを示し、この章でどのようなことを学ぶか分かるようにしてあります。導入近くに当時の町や村落等を絵画にした「タイムトラベル」を設け、その時代がどのような時代であったか、大まかな特徴を予想させ、見通しをもって学習することができるようになっています。

以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いします。

村上正則委員。

○村上(正)委員 村上です。

先ほどの質問と同じようなんですが、「東京書籍」だけに、丸が1つ多いんですけども、何か比較して特徴的なことはありますか。

○金子教育指導課長 「東京書籍」は、他の発行者と比べて、課題が焦点を絞って提示されているため、生徒が考えやすくなっています。また、歴史を知識として覚えるだけではなく、その後の影響を考えることができるようになっている点であります。

○宮本教育長 よろしいですか。

ほかにいかがでしょうか。

村上節子委員。

○村上（節）委員 「東京書籍」以外についてはどうでしょうか。

○金子教育指導課長 例えば、「教育出版」では、学習課題の提示の仕方が、学習の結果、何を理解すればよいかということが明確になっている点が挙げられます。

また、「帝国書院」には「タイムトラベル」というページがあり、これは生徒の意欲を喚起させると大きな評価がありました。

以上です。

○宮本教育長 それぞれ特徴を今示していただいたんですが、ほかにはいかがでしょう。

奥田委員。

○奥田委員 各3社の教科書を見ても、今まで話題になっていたデジタルコンテンツというのがあまりないというか、省略されていると、それは結局教科書を見ていると、図版がかなり豊富ですので、この資料とか図版を見れば、その時代の雰囲気は分かるということで、デジタルコンテンツが必要ないということになっているんじゃないかなと思うんですが、その中でも、先ほどありましたように、「東京書籍」の場合は図版をしっかりと読むだけでも歴史の流れが分かるような、どこにその時代の特色があるのかというのをよく整理されているように思いました。

以上です。

○宮本教育長 豊田委員。

○豊田委員 豊田でございます。

「東京書籍」の場合は、大きな章とか節とかごとの問いを出して、その問いに対してどのようにまとめていくかというふうな出し方がしてあります。歴史の大きな流れとか、推移とか、そういったものを子供たちが部分的に捉えないで、大きな流れの中で歴史を捉えていくというふうな、そういうふうな編集に

してあるので、これからの歴史を学んでいくのには大切なことかなというふうに思いました。

それから、人権問題とか、領土問題とか、そういったことにも非常に前向きに提示してあって、特に水平社宣言とか解放令とか、そういったところは他の教科書よりも非常に詳しく2ページにわたって説明してあったりとか、それから日本を取り巻く領土問題についても、子供たちが読んで分かりやすいような書き方がそれぞれ示してありました。

したがって、歴史の事実を知るといふ、事柄を知るといふことだけでなく、自分たちが歴史を考えて、学んでいく、自分なりに判断して、今の時代と比較しながら考えていく、そういうような編集になっているなというふうなことを思いました。

以上です。

○宮本教育長 今「東京書籍」を評価する意見が出ているんですが、ほかの会社を支持される方はいらっしゃいませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、以上で「歴史的分野」の質疑を終わって、採決に移りたいと思います。

「社会（歴史的分野）」は「東京書籍」ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、御異議なしと認め、そのように決しました。

続いて、「公民的分野」に入りたいと思います。

説明をお願いします。

○金子教育指導課長 「社会（公民的分野）」について説明いたします。

報告書の23から26ページを御覧ください。

「社会（公民的分野）」の教科用図書の発行者は6社です。

丸がついたものは、「東京書籍」につきましては、第1の観点の①、第2の観点の⑤、第4の観点の⑨です。「教育出版」につきましては、第1の観点の①、第3の観点の⑥、「帝国書院」につきましてはありません。「日本文教出版」につきましては、第1の観点の①、第3の観点の⑥、「自由社」についてはありませんでした。「育鵬社」につきましてはありませんでした。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは、「東京書籍」と「教育出版」と「日本文教出版」です。この3社について具体的に説明します。

まず、「東京書籍」は、第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、学習課題の示し方です。

見開きごとのタイトルと副題が、どのような、どのようにといった学習課題について思考を喚起する表現で示されており、生徒は興味をもって学習に臨むことができるとともに、あらかじめ何を理解すればよいかを明確にすることができます。また、ページ下部に「チェック」「トライ」が設けられており、学習課題に対して理解できているかどうか、確認ができます。

次に、第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、⑤学習のまとめ方の工夫です。

「確かめよう」「ふり返ろう」により段階的に学習を振り返った後、複数の資料を活用しながら、「深めよう」、これで多面的、多角的に考えさせています。効率的かつ深い思考となるよう、Yチャート、ダイヤモンドランキングなどの思考ツールを活用しています。

次に、第4の観点、(エ)内容の構成、配列、分量のうち、⑨社会参画への意識を高める工夫です。

特設ページ「18歳へのステップ」、また章末「深めよう」を設け、S市の議員になって条例をつくろうなどの社会参加を促す内容となっています。18歳に有権者となることが意識づけられるとともに、社会参画意識が醸成される効果が期待できます。

次に、「教育出版」です。

「教育出版」は、第1の観点、(ア)知識及び技能の習得の①学習課題の示し方です。

見開きごとに生徒の興味を引くタイトルと副題、どのような、どのようにといった学習課題を示しており、生徒は興味をもって学習に臨むことができるとともに、何を理解すればよいかが明確です。また、右ページ下部に「確認!」「表現!」が設けられており、学習課題に対して理解できているかどうか、確認ができるようになっています。

次に、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑥単元の導入における工夫です。

章の冒頭3ページを単元の導入に使っています。3から4枚の写真から、学習内容に興味をもたせた後、学習の初めの課題に取り組みせ、章全体の問いにつなげています。また、課題について考えることを通して、「公民的分野」における見方、考え方について理解できるようになっています。

次に、「日本文教出版」です。

第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、①学習課題の示し方です。

見開きごとにタイトルと、どのような、どのようにといった学習課題を示しています。学習課題から見方、考え方へつなげる表示があり、見開きページに、「確認」「表現」を設定し、学習課題に対応した課題を示しています。

次に、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑥単元の導入における工夫です。

章の冒頭2ページを単元の導入に使っています。5から9こまの漫画で生徒に興味をもたせながら、学習内容をだまかにつかませる工夫が取られています。また、章の問いや各節の問いが掲載されており、学習の見通しをもって単元の学習に臨むことができるようになっています。

以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いいたします。

村上正則委員。

○村上(正)委員 村上です。

人権問題についてお聞きしますというか、私の考えを。

人権問題については直接命に関わる現在進行形、今ある人権侵害についてちゃんと子供たちには伝えたいと思ってます。それは、チベットとかウイグルとか日本人拉致となると「自由社」がしっかりその点は書いているんですが、ただこの会社は二次元コードが全くないんですよね。となると、情報量としてはもう何倍も差があって、子供たちが家で学習する、保健室で学習するというのには全く向いてないかなと思います。それに比べて、「東京書籍」のほうは、各単元に全部二次元コードがついてるんですよ。ですから、「東京書籍」が情報量とかそういう意味ではいいのかなと思っております。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

村上節子委員。

○村上(節)委員 地理とか歴史とかでも思考力、判断力、表現力っていうのが大切だと言われてたんですけど、「公民」に関してもそうなんですかね。

○金子教育指導課長 繰り返しになるかもしれませんが、現在の「社会科」は、やはり思考力、これが大切になってまいります。これは「公民的分野」でも同じであります。

特に「公民的分野」については、議論のあるような問題を知識として、生徒に知識を教えるのではなくて、それをどう考えるのかという思考力、判断力、表現力を鍛えることが大事であると選定委員会では考えました。

○宮本教育長 ほかに。

奥田委員。

○奥田委員 3つの教科書を見る中で、特に「東京書籍」などは単元の課題学習、どうのことを学ぶかということが明確で、そして説明もコンパクトであり、最後、「チェック」と「トライ」というような形でまとめることができるように工夫されています。生徒が自主的に考え、そしてその時間で主体的に学ぶという仕組みがうまくできているように思いました。

○宮本教育長 豊田委員。

○豊田委員 豊田でございます。

「公民」の場合もやはり物の見方、考え方、そういった力をつけていくということがこれからの子供にとっては大事なのではなからうか。そうすると、自分で物を考えていく手だて、そういったものを身につけていって、それらを基にしながら自分で考えを進めていくということでは、とりわけ比べるとか、関連づけるとか、そういった思考の方法、これは他の教科にも通用することですけれども、そういったことを非常に重く詳しく取り上げているなということを感じました。

したがって、これからの学習は、教科書を覚えるとか、教科書を教えるとか、そういう次元ではなくて、子供たちが学び取っていくために何をどのように与えていくか、提示していくかということが大事になってくるのではなからうかなと思います。そういう点では、「東京書籍」の進め方が非常に整理されているなというふうに思いました。

以上です。

○宮本教育長 ほかに。今「東京書籍」の良さについて御意見があるんですが、ほかにはいかがでしょうか。

私も一言言わせていただくと、皆さんがおっしゃった「東京書籍」の良さの一つとして、選挙について、中学生は今中3が15歳で、18歳になったら選挙権があるということで、自分が間もなく選挙をする立場になるってということも踏まえて、そうした社会参画を促すっていう点でも「東京書籍」は様々な工夫をしておられるなということを感じます。そういったところも「東京書籍」の優れているところかなと思いますし、また「社会科」はやはりいろんな考え方があると思いますし、取り上げる内容も様々、たくさんの中から教科書会社がどれをチョイスして、どのように記述するかっていうのも様々あるわけですけども、「東京書籍」はそういう点では偏りがなく、バランスが取れているのかなというふうなところも評価したいなというふうに思います。

それでは、ほかにはございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、「公民的分野」の質疑を終わりました。採決に移りたいと思います。

「社会（公民的分野）」は「東京書籍」ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、そのように決しました。

続いて、「社会の地図」に移りたいと思います。

説明をお願いします。

○金子教育指導課長 では、「地図」について説明します。

報告書の27から28ページを御覧ください。

「地図」の教科用図書の発行者は2社です。

丸をつけたところは、「東京書籍」につきましても、第2の観点の④、第4の観点の⑥、「帝国書院」は、第1の観点の①、第3の観点の⑤、第4の観点の⑥です。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものを具体的に説明いたします。

まず、「東京書籍」についてです。

第2の観点、（イ）思考力、判断力、表現力等の育成のうち、④目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫です。

この地図帳と一緒に世界旅行をする「ミツバチーズ」というキャラクターが、地図の活用や学習を深めるためのヒントとなる157の問いを出しています。生徒が親しみを感じながら、地図の活用や地理の学習を深めるためのヒントとして、問いについて考えたり、考えた結果を表現したりすることができるようになっています。

次に、第4の観点、（エ）内容の構成、配列、分量のうち、⑥題材や資料等の配列です。

インデックスを世界全体、日本全体、世界と日本の地域ごと、統計、さくいんに分類し、さらに世界は州ごとに、日本は地方ごとに細かく分類し、色分けしており、目指す州や地方等がどのページに掲載されているか、容易に探すことができるように工夫してあります。

次に、「帝国書院」についてです。

第1の観点、（ア）知識及び技能の習得のうち、①地図の活用を促す工夫です。

巻頭に、この地図帳の凡例、地図帳の使い方を設け、一般図、鳥瞰図、主題図等の見方や使い方を記載しています。また、鳥瞰図が掲載されていることで、生徒にとって分かりやすく、興味をもって学習をすることができるようになっていきます。

また次に、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫です。

世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載しています。資料ページには鳥瞰図があり、生徒にとって分かりやすく、興味をもって学習することができます。身近な地域の情報の記載もあります。

次に、第4の観点、(エ)内容の構成、配列、分量のうち、⑥題材や資料等の配列です。

インデックスを資料、世界、日本、統計、索引という実際の活用に即した分類となっており、色分けして、シンプルで分かりやすい表記となっています。

「東京書籍」より総ページ数が22ページ多く、地図や資料を豊富に掲載してあります。

以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いします。

村上節子委員。

○村上(節)委員 「地理」と「地図」っていうのは同じ会社のほうがいいのか、関係ないよとか、何かありますか。

○金子教育指導課長 「地理」と「地図」の教科書、これは別々でも問題はないと調査員から聞いています。それぞれどのような力をつけたいのかということがこれも大切であるという意見でございました。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょう。

奥田委員。

○奥田委員 先ほど「地理」の教科書と「地図」の教科書会社が違ってもいいという説明もありましたが、利用する側からいうと、「地理」の教科書と「地図」の教科書が一緒であれば、いろいろな地図の見方というところも共通する部分があるでしょうから、それはメリットとしてはあるのではないかなというふうに思いました。

それから、先ほどありましたが、分量も非常に多く、いろんなデータがたくさんあって、そのデータの中からもいろんなことを学び取ることができるというような地図帳になっているというところでは「東京書籍」がすばらしいというふうに思いました。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 「帝国書院」なんですけども、「地理」は「帝国書院」になってるんですけども、「地図」について「帝国書院」で評価できるようなところはどこでしょうか。

○金子教育指導課長 「帝国書院」は鳥瞰図が多数掲載されております。そのため、生徒が地形や景色を詳しく読み取ることができるため、生徒にとって分かりやすく、また興味をもって学習を進めることができると考えました。

また、地図の特性上、生徒が目的を持って地図を見たり、地図を見ながら、新たな気づきや発見をしたりすることもできるという点からも、鳥瞰図が充実している「帝国書院」が評価できるという意見でございました。

○宮本教育長 豊田委員。

○豊田委員 豊田でございます。

先ほど課長さんがおっしゃいましたけれども、鳥瞰図がやっぱりふんだんに取り入れられてあるので、子供たちにとって見やすい、興味をもちやすいんじゃないかなという思いをもちました。

それから、地図を自分で見ながら考えや見聞を広めていくということも子供にとっては大切な学習や学びであると思うんですよね。そういう面では、やっぱり引きつけやすい、見やすい、あっ、地図を見ようというふうな、そういうふうな関心子供たちがもっていくような、もつような地図帳が望ましいなというふうに思います。そういう面では「帝国書院」ですか、それがいいのかなっていうふうに思いました。

○宮本教育長 「東京書籍」、「帝国書院」それぞれ評価する意見が出てるんですけども、ほかにいかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、挙手によって採決をしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、「帝国書院」に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○宮本教育長 全会一致ということになりましたので、「帝国書院」ということで決しました。

続いて、「数学」に移りたいと思います。

説明をお願いします。

○金子教育指導課長 「数学」について説明いたします。

報告書の29から34ページを御覧ください。

「数学」の教科用図書の発行者は7社です。

丸をつけたところを報告いたします。「東京書籍」につきましては、第1の観点の①、第2の観点の③、第3の観点の⑥、第5の観点の⑩、「大日本図書」につきましてはありませんでした。「学校図書」につきましては、第1の観点の①、第3の観点の⑥、第5の観点の⑩、「教育出版」につきましてはありませんでした。「啓林館」につきましては、第1の観点の②、第3の観点の⑤、第5の観点の⑩、「数研出版」につきましてはありませんでした。「日本文教出版」につきましてもありませんでした。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは、「東京書籍」と「学校図書」と「啓林館」です。この3社について具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。

第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、①知識及び技能の定着を図るための工夫です。

章の学習につながる問いかけとともに、各章のまとめりに「クイックチェック」を設定し、必ず身につけたい問題を取り扱い、学び直しができるよう工夫されています。コンテンツ内で証明の学習を助ける証明メーカーなど、証明が苦手な生徒も、性質を考えながら証明を進めることができます。このようなコンテンツで証明をしていくようになっていきます。

次に、第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、③数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫についてです。

生徒が主体的に学習したことを実生活と結びつけて活用し、説明したり、話し合ったりできる課題を取り上げています。箱ひげ図とヒストグラムなど、異なる図を比較して、その特徴を比較したり、箱ひげ図の誤った読み取り方について批判的に考察して説明したりするなどして、思考力、判断力、表現力等を育成することができるようになっていきます。

次に、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑥問題解決的な学習を実施するための工夫です。

深い学びとして、習得した知識・技能を活用して問題解決するページでは、飲物を保冷バッグに入れるとどれくらいの間、飲物を冷たく保てるか考えるなどの、生徒が解決したくなるような身の回りの問題場面を設定し、問題をつかむ、見通しを立てる（自分で考えてみよう、友達の考えを知ろう）、問題を解

決する（話し合ってみよう）、振り返る、深めるという問題解決の過程を意識しながら活動させる工夫があります。

次に、第5の観点、（オ）内容の表現・表記のうち、⑩イラスト、写真、デジタルコンテンツの活用です。

デジタルコンテンツが豊富で、視覚的に確認ができます。また、多くの問いの類題がフラッシュカードになっており、学び直しに活用することができます。このようなフラッシュカードが設けられていました。

次に、「学校図書」についてです。

第1の観点、（ア）知識及び技能の習得のうち、①知識及び技能の定着を図るための工夫として、各学習の初めに「Q u e s t i o n」を設定して、学習のきっかけとするとともに、キャラクターの生徒の発言により問題解決の見通しを持たせています。

次に、第3の観点、（ウ）主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑥問題解決的な学習を実施するための工夫です。

水を熱する実験で、水が沸騰するのは何分後になるか予測するなど、日常生活に関連した題材を取り上げています。問題を見つけよう、実験して考えよう、グラフに表してみよう、説明してみよう、式に表して考えよう、新たな問題を見つけようという問題解決の過程も示しています。

次に、第5の観点、（オ）内容の表現・表記のうち、⑩イラスト、写真、デジタルコンテンツの活用です。

二次元コードから、教科書アドバイザー「マスマス」などを利用することができ、AIチャットで質問することができるようになっており、個別のつまずきにも柔軟に対応できるようになっています。このようなコンテンツです。チャットで質問したり、答えが返ってくる、そんなふうになっているコンテンツです。

では次に、「啓林館」についてです。

第1の観点、（ア）知識及び技能の習得のうち、②概念的な理解を促す工夫についてです。

1年の比例・反比例では、箱を作るとき、切り取る正方形の1辺の長さが変わることに伴って、箱の底面の1辺の長さが変わるなどについて考えることを通して、関数の概念について分かりやすく理解する工夫がされています。

次に、第3の観点、（ウ）主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑤興味関心を高めるための工夫です。

話合いの場面を設定し、他者の考えを尊重しながら、自分の考えとの違いを

明らかにし、どれが正しい考えなのかを判断する力や自分の考えが正しいと考える根拠を説明する表現を鍛えながら、数学の概念の理解を深めていく工夫がされています。

次に、第5の観点、(オ)内容の表現・表記のうち、⑩イラスト、写真、デジタルコンテンツの活用です。

二次元コードから、補充問題、例・例題の解説動画などのデジタルコンテンツを利用できるようになっています。例の解説動画を見て個別で学ぶことができ、補充問題が充実しているため、学び直しにも活用することができるようになっています。

[動画視聴]

○金子教育指導課長 このような例題の解説動画なども入っております。

説明は以上でございます。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いいたします。

村上節子委員。

○村上(節)委員 「学校図書」にはAIチャットがあって、生徒のつまずきに個別に柔軟に対応するという事なんですが、生徒にはそれはやっぱり必要な感じですかね。

○金子教育指導課長 AIチャットというところが新しい工夫であるかなと思います。これは、家庭学習の際に、自分で調べることができ有効であるという意見は出ておりましたが、聞きたいことが返ってこないというようなところも少しあったようでございますので、今現在でいくと、十分に対応できているとは言えないのではないかとというような意見も上がっておりました。

○宮本教育長 いいですか。

ほかは、いかがでしょう。

村上正則委員。

○村上(正)委員 村上です。

「数学科」では、ほかの科目も一緒なんだろうけども、観点で一番重要なのはどういったところでしょう。

○金子教育指導課長 「数学」におきましては、第3の観点、主体的に学習に取り組む工夫、問題解決的な学習を実施するための工夫、このあたりの観点が数学では重要だと考えています。

○宮本教育長 よろしいですか。

奥田委員。

○**奥田委員** 特に「東京書籍」の教科書は、実生活と結びつけて「数学」を考えていくという姿勢が、非常に他者よりも強く出ているというところが特色ではないのかなと思いました。

それから、証明メーカーというのも紹介されましたけれども、デジタルコンテンツが充実している、これはもともと「東京書籍」の強みなんでしょうけども、こういう形で証明メーカー、証明を自分でしていくという主体的に学ぶ資料としては、使い方としては非常に便利なコンテンツではないかな、力をつけるために有力なコンテンツだというふうに感じました。

○**宮本教育長** ほかにいかがでしょう。

豊田委員。

○**豊田委員** 豊田でございます。

「啓林館」も「学校図書」もそれぞれ数学的な思考力を養うという点では、もちろん「東京書籍」もそうですけれども、よくできていると思うんです。

「学校図書」の場合は非常にステップが小刻みになっていて、分かりにくい児童・生徒にとっては学んでいくのに見やすいかなと思いますが、「東京書籍」は、特に考えたことを伝え合う、自分の考えを相手に説明する、伝えるという点をかなり強調してあるように思ったんですけれども、この力はこれからは大事になってくるんじゃないかなというふうに思います。

そして、マイノートの取り方というのが入ってたんですけれども、考えたことを自分のノートとしてまとめていくという力をつけるということも必要なことだと思うんです。それが非常に的確な例が載っておりました。そういう点で「東京書籍」がいいのかなという気がいたします。

○**宮本教育長** 今「東京書籍」の良さを評価する意見が出てるんですが、ほかにいかがでしょうか。

私もそれぞれ「学校図書」も問題解決的な学習のための工夫がたくさんされていますし、丁寧につくってあるので、「学校図書」もいい教科書だなというふうに思いましたし、「啓林館」も身近な話題を基に学習できますし、先ほどの動画のように、家庭でもあの動画を見て自分で学習できるということで、「啓林館」もすばらしいなと思っているんですけれども。「東京書籍」は、やはり先ほど奥田委員がおっしゃったように、実生活と結びつけて、身の回りの問題場面を設定して主体的に学習に取り組ませるっていうところはかなりすばらしいところがありますし、またデジタルコンテンツがこれは傑出して優れているというところも感じるところでありまして、それぞれいいんですけれど

も、総合的に見るとやはり「東京書籍」がいいのかなという感じで思っていますが、ほかに御意見よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、質疑を終わって、採決に移りたいと思います。

「数学」は「東京書籍」ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、そのように決しました。

それでは、もう一つ、「理科」まで行って休憩を取りたいと思うんですが、その進行でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、「理科」の説明をお願いします。

○金子教育指導課長 では、「理科」について説明をいたします。

報告書の35から39ページを御覧ください。

「理科」の教科用図書の発行者は5社です。

丸をつけましたところは、「東京書籍」につきましては、第3の観点の⑥、第5の観点の⑩、「大日本図書」につきましてはありませんでした。「学校図書」につきましては、第5の観点の⑩、「教育出版」につきましてはありません。「啓林館」につきましては、第3の観点的うち、⑥と⑦、第5の観点の⑩です。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは、「東京書籍」と「学校図書」と「啓林館」です。この3社について具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。

第3の観点、（ウ）主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑥学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫です。

日常生活や社会に広げて考えることができる、学びを生活や社会につなげようという内容を提示しています。分野ごとに「理科」に関連した事物・事象の読み物が豊富に提示されており、科学が発展してきた歴史なども紹介されています。身の回りの事象から科学的発見が行われてきたことを知って、興味関心を高め、「理科」の有用性を感じさせることに役立っています。

次に、第5の観点、（オ）内容の表現・表記のうち、⑩写真、資料、デジタルコンテンツ等の取扱いです。

探究的な学習のサポートとして、様々なデジタルコンテンツが豊富に用意さ

れています。生徒にとって、学習したことを定着させたり、学びを広げたり、深めたりするものとなっており、教師にとっても指導の助けとなっています。

[動画視聴]

○金子教育指導課長 次は、「学校図書」についてです。

第5の観点、(オ)内容の表現・表記のうち、⑩写真、資料、デジタルコンテンツ等の取扱いです。

教科書の二次元コードからウェブ上で教科書を見ることができ、そこから動画コンテンツや操作コンテンツを活用することができるようになっています。生徒にとって、学習したことを定着させたり、学びを広げたり、深めたりするものになっています。教師にとっても指導の助けとなっています。

[動画視聴]

○金子教育指導課長 次は、「啓林館」についてです。

第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫、この中で2つ丸をつけています。⑥学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫と⑦科学的に探求しようとする態度の育成を図る工夫です。

分野ごとに、日常生活とのつながりを意識した科学コラムが充実しており、学校生活等とのつながりが実感できるような話題を提示しています。「部活ラボ」「お料理ラボ」などがそれに当たります。生徒の興味関心を高め、「理科」の有用性を感じさせることに役立っています。また、各学年に探究実験を設定し、探究活動のための探Qシートを設け、生徒が書き込むことで、自分自身で仮説を立て、その仮説を基に自らが実験計画を立てる活動、これが行えるようになっています。この科学的探究の過程に沿った学習活動は、生徒の科学的に探究する力の育成に寄与しています。

次に、第5の観点、(オ)内容の表現・表記のうち、⑩写真、資料、デジタルコンテンツ等の取扱いです。

動画コンテンツだけでなく、振り返りシートや、動かせたり編集できたりする多様なコンテンツがあります。生徒にとって、学習したことを定着させたり、学びを広げたり、深めたりするものとなっており、教師にとっても指導の助けとなっています。

報告は以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いします。

奥田委員。

○奥田委員 「理科」にとって実験というのは非常に大きなウエートを占める部分だろうと思います。実験を通して理科的な中身を理解していくというところが大きな柱であると思います。その中で、「啓林館」では、探Qシートというものを実験ごとに全て設けていて、それで自分で仮説、あるいは検証する、あるいはどういうふうの実験をしていったか、その結果をまとめるというような主体的な学びができるような工夫があるというところがこの「啓林館」の大きなメリットであるというふうに思っております。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

豊田委員。

○豊田委員 豊田でございます。

今奥田委員さんがおっしゃったように、「東京書籍」と「啓林館」と課題解決の過程が多少ニュアンスが違っているのかなと思うんですけども、それが「啓林館」で言う探Qシートですかね、そのシートを書くことによって、この流れが多少変わってくるというふうに捉えてもいいんでしょうか。

○金子教育指導課長 「東京書籍」、「啓林館」ともに、多少の違いはありますけれども、どちらも課題発見、仮説の設定、検証、実験方法の計画、実験、結果の考察といった探究の過程、これを大切にされた構成となっております。

「啓林館」は探Qシートを活用することで、生徒自身が理科の思考手順を意識して学習できるようになっているというところで、「啓林館」が優れているというふうに捉えています。

○宮本教育長 よろしいでしょうか。

ほかにいかがでしょう。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

「啓林館」の探Qシートなんですけども、これは自ら考えて対話型になっているということと、この探Qシートなんですけども、ここデジタルで直接打ち込んで、これを印刷して、自分なりのノートを作ることは可能なんですかね。

○金子教育指導課長 印刷して使用もできるようになります。また、データとして、タブレット端末に保存もできるようになりますので、記録として残すこともできます。これまでは、紙媒体のもので評価していたものが、今後はデジタルで提出させ、そしてそれが保存されて、評価もできるようになるというように改善されているところです。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょう。

村上節子委員。

○村上（節）委員 私はこの「啓林館」がいいなと思ってて、それが実験4って音の違いと波動の様子の関係っていうところで、実験の部分でオシロスコープっていう器具を使わなくても、何か二次元コードというか、それで実験が各自でできるっていうところとかが子供たちからしたら楽しいのかなと思うので、いいなと思いました。

○宮本教育長 今「啓林館」の良さ意見としていただいておりますが、他社については何かございますでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、以上で「理科」の質疑を終わって、採決に移ります。

「理科」は「啓林館」ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、そのように決しました。

では、ここで休憩を取りたいと思いますが、3時5分再開でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、3時5分まで休憩といたします。

午後2時55分 休憩

午後3時5分 再開

○宮本教育長 それでは、会議を再開します。

「音楽（一般）」について説明をお願いします。

○金子教育指導課長 「音楽（一般）」について説明いたします。

報告書の40から41ページを御覧ください。

「音楽（一般）」の教科用図書の発行者は、「教育出版」と「教育芸術社」の2社です。この2社の特徴を説明いたします。

丸をつけたところは、「教育出版」につきましても、第1の観点の①、第2の観点の③、「教育芸術社」につきましても、第2の観点の③、第3の観点の⑥、第5の観点の⑩です。

ではまず、「教育出版」についてです。

第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、①表現、鑑賞領域の知識及び技能の習得を図るための工夫です。

歌うための姿勢や母音の発音についてイラストを使用して示しており、それらを意識しながら歌えるように参考楽曲を示しています。また、年間を通して、段階的に表現の工夫につながるように示してあります。

次に、第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、③音楽表現を創意工夫させるための工夫です。

曲を比較して、それぞれの曲の特徴を生かした表現の工夫を考えさせたり、旋律のまとまりを感じ取り、表現の仕方を考えさせる「ACTIVE!」を掲載したりしています。音の重なり方などについて調べ、曲の特徴を生かして、どのように表現の仕方を工夫するか、交流するためのワークシートを掲載し、またキャラクターの吹き出しに具体的な工夫点を記載するなど、音楽表現の創意工夫につながる工夫がなされています。

次に、「教育芸術社」についてです。

第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、③音楽表現を創意工夫させるための工夫です。

「学びのコンパス」で見方、考え方を働かせて、深い学びを実現するための手だてを示しています。旋律の特徴、強弱、終わりの音などを確かめ、表に整理し、曲の特徴や構成を話し合うなど、どのように歌いたいかわかる活動を設定しています。さらに、いろいろな表現を試す学習活動が示されています。

次に、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑥音や音楽を生活や文化などと関連づける工夫です。

生活や社会の中の音や音楽で音や音楽と生活や文化の関わりについての資料を掲載し、身の回りの音や音楽の果たす役割を理解し、音楽への関心を高める工夫がされています。

次に、第5の観点、(オ)内容の表現・表記のうち、⑩楽譜、イラスト、写真、デジタルコンテンツの活用です。

各教材に二次元コードを掲載し、パート別の旋律、ピアノ伴奏が再生でき、生徒が主体的に学習に取り組むことができます。また、内容や図などの補足説明を見ることやワークシートの活用ができるようになっています。

[動画視聴]

○金子教育指導課長 以上のようなコンテンツも工夫されています。

以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いします。

奥田委員。

○奥田委員 「教育出版」と「東京芸術社」の2社は特に大きな差はないようにも読ませてもらったんですが、どちらかというところ、より「教育芸術社」のほうが深く音楽を理解させようとしているのかなというのを感じました。

それから、デジタルコンテンツの部分でいうと、「教育芸術社」のほうがより充実しているというところは感じました。

以上です。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 両社ともデジタルコンテンツについてはたくさん掲載があって、なかなか学校の先生は専門があるので、尺八ができますかといってもなかなか難しいんじゃないかなと思うんで、非常にいいんじゃないかと思うんですけども。両社の選曲のイメージというんですかね、もし違いがあれば教えていただければと思います。

○金子教育指導課長 伝統曲、新しい曲、合唱曲など、これはどちらの社にもあります。「教育芸術社」は、3年生の下に、ポピュラー音楽、これがあることが非常に特徴的であると報告されています。

○宮本教育長 豊田委員。

○豊田委員 豊田です。

尾道には長いこと続いています音楽会がありますよね、音楽コンクール、その音楽コンクールの選曲を、課題曲は教科書から取るというふうに何年か前からなっていますが、両社を比べてみたときに、合唱曲としてふさわしいのがあるのはどちらなのでしょうかね。

○金子教育指導課長 選定委員の中では、調査員のほうからは、2部合唱、混声合唱、難易度等、どちらの社も対応できるようになっているので、どちらでも大丈夫ということでありました。

○宮本教育長 今のことに関わって、「教育芸術社」のほうが、曲の特徴とか構成を生徒たちがグループで話し合っていて、どのように歌ったらいいかというのを考える活動なども示されていて、本市がやっってる音楽コンクール、そういった生徒の主体的な合唱づくりっていうところを聞いています。各学校で取り組んでくださっていますので、そういったところも関連づけてある「教育芸術社」が私はいいかないかなとも思っています。

ほかにありますでしょうか。

村上節子委員。

○村上（節）委員 私は子供たちにとって「教育芸術社」のほうがいいんじゃないかなと思っています。それは、各学年ともに「学びのコンパス」というページが掲載されていて、音楽的な見方とか考え方とかを働かせて、深い学びを実現するための手だてを示していて、生徒が主体になって学習ができる工夫が見られるのかなというふうに思いました。

○宮本教育長 今「教育芸術社」を評価する意見をいただいているんですが、ほかにはありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、以上で「音楽（一般）」の質疑を終わって、採決に移りたいと思います。

「音楽（一般）」は「教育芸術社」ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、そのように決しました。

続いて、「音楽（器楽合奏）」について説明をお願いします。

○金子教育指導課長 「音楽（器楽合奏）」について説明いたします。

報告書の42、43ページを御覧ください。

「音楽（器楽合奏）」の教科用図書の発行者は、「教育出版」と「教育芸術社」の2社です。この2社の特徴を説明します。

丸をつけたところは、「教育出版」につきましては、第1の観点の①、第2の観点の④です。「教育芸術社」につきましては、第1の観点の②、第2の観点の③、第3の観点の⑤です。

まず、「教育出版」についてです。

第1の観点、（ア）知識及び技能の習得のうち、①器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫です。

スモールステップで段階的に技能の習得ができるように掲載しており、いろいろなリズムをタンギングを使って演奏する際、使う音を3つの音に限定するなど、演奏に必要な基礎的技能の確実な習得につなげる丁寧な記載になっています。

次に、第2の観点、（イ）思考力、判断力、表現力等の育成のうち、④音楽的な見方、考え方を働かせる工夫です。

各楽器のカテゴリーごとに音楽的な見方、考え方を働かせながら、各楽器の特徴についてワークシートを使って整理し、共通点や相違点について考え、話

し合う活動が設定されています。各楽器の鑑賞曲を聞き、楽器の音の出る仕組みや旋律の特徴を捉える学習の展開ができるようになっていきます。

次に、「教育芸術社」についてです。

第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、②題材の学習目標等の示し方です。

ページの最上部に見開き2ページ分の活動内容、ストローク奏法で弾こう、アポヤンド奏法とアル・アイレ奏法で弾こうなどを示しています。できた、弾けたという実感を得やすい順に示されていると考えられます。また、課題曲の下に活動文、何に気をつけて、どのように学習活動するのかが示されています。

次に、第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、③音楽表現を創意工夫させるための工夫です。

箏の創作では、課題や条件に沿って旋律をつくる活動があります。課題と条件を示し、箏のいろいろな奏法を試して、試行錯誤しながら学ぶことが設定され、旋律の反復や変化など、一般の音楽の授業で習得したことを器楽においても活用して工夫することが想定されています。伝統的な縦書きの譜面を多く掲載した上で、5線譜も併せて掲載するなど、我が国の音楽の伝統が伝わるよう工夫されています。

次に、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑤興味関心を高めるための工夫です。

ギターと関連づけて、ポップスのバンドスコアを掲載しています。楽器への関心が高まり、タブ譜で演奏してみたいという意欲につながります。また、和楽器やジャンルを超えてコラボレーションしていることが掲載されており、生徒の多様な興味関心につながるものになっています。

以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いします。

村上正則委員。

○村上(正)委員 それぞれの特徴はどんなものでしょう。

それと、「音楽(一般)」と同じ会社じゃなくてもいいのかなど、その点も教えてください。

○金子教育指導課長 それぞれの社の特徴は、改めて申しますと、「教育出版」は楽器の導入における学習の段階を丁寧に扱っていること、そして併せて楽器の特徴を比較して考える工夫を示しているところが特徴であると報告されています。

「教育芸術社」は、伝統的な音楽から最近のポップスまで幅広く取り扱われていると考えられます。また、一般の教科書にも登場した「学びのコンパス」が器楽の教科書にも掲載されており、問いが設定されているなど、表現を工夫する上で注目すべきことが示されています。これにより、自ら主体的に学習を進められるよう工夫されているところが特徴であると聞いております。

また、「一般」と「器楽」別々はどうかというところがございますけれども、同じ社のほうが良いのではないかという意見があったと思います。

以上です。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

村上節子委員。

○村上（節）委員 伝統的な楽器について、尾道の学校ではどういうふうに取り扱っていますか。

○金子教育指導課長 尾道では箏を全学校で取り扱っています。そして、それ以外の和楽器の取扱いについては、実態に応じて、選択して学校が使われています。

○宮本教育長 よろしいですか。

豊田委員。

○豊田委員 豊田でございます。

先ほどから話題になってましたが、和楽器の場合に、今尾道ではお箏をしてくるんですかね。そのほかに教科書を見ますと、「教育出版」かな、篠笛だとか、尺八だとか、そういった楽器を取り上げている教科書もありますが、和楽器だったら何を学校で取り上げてもいいというふうな形になってるんですかね。

○金子教育指導課長 学習指導要領においては、3年間で1つ以上の和楽器を扱うこととなっておりますので、扱う楽器については学校の裁量に任されています。

○豊田委員 はい、分かりました。ありがとうございました。

○宮本教育長 奥田委員。

○奥田委員 選定委員会でもなるべく同じ教科書のほうがいいのではないかという意見もあったということもあります。1週間に音楽と併せて1時間ぐらいの授業ですので、同じ会社のほうが生徒も使いやすいというところは特にあると思います。

それから、器楽合奏、演奏ということになりますと、個人であったり、団体であったり、演奏して音楽を楽しむという、そういう趣旨が教科書の中にしっ

かりと表れていると思うんですけど、そういう観点でいくと、演奏の仕方とか、そういうコンテンツの充実ぶりというのも大きなポイントになろうと思います。そういう点では、「教育芸術社」のほうはコンテンツのほうも充実しているということですので、「教育芸術社」の方向がよろしいのではないかというふうに思います。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

私も「教育芸術社」は本当に幅広い教材が取り扱われてるなというふうに思いますし、とりわけ日本の音楽、伝統音楽、これもしっかり取り扱われていて、次の世代の子供たちに、やはり日本の音楽のよさもぜひ理解して伝えていきたいというところもありますし、そういったことで、あとまた自ら主体的に学習するっていうことで、「一般」との関連も重視しなきゃいけないというふうに思いますので、そういったところから「教育芸術社」が優れてるのではないかなというふうに思います。

では、ほかにはよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、「音楽（器楽合奏）」の質疑を終わって、採決に移りたいと思います。

「音楽（器楽合奏）」は「教育芸術社」ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、御異議なしと認め、そのように決しました。

続いて、「美術」の説明をお願いいたします。

○金子教育指導課長 「美術」について説明をいたします。

報告書の44から47ページを御覧ください。

「美術」の教科用図書の発行者は、「開隆堂」と「光村図書」と「日本文教出版」の3社です。この3社の特徴を説明いたします。

丸をつけたところは、「開隆堂」につきましては、第1の観点の②、第3の観点の⑤、「光村図書」につきましては、第1の観点の②、第3の観点の⑤と⑥、第5の観点の⑨です。「日本文教出版」につきましては、第3の観点の⑤、第5の観点の⑧です。

まず、「開隆堂」についてです。

第1の観点、（ア）知識及び技能の習得のうち、②形や色彩、材料や用語の取扱い等の定着を図るための工夫です。

各題材の学習で必要な知識や技能が「美術の用語」に、題材横断的な知識や

技能が各巻の巻末に「学びの資料」と示されています。このように系統的に整理された「学びの資料」によって各学習事項が有機的に結びついて活用できるようになり、分かりやすく解説している「美術用語」が基礎・基本の定着を助け、生徒にとってつまづくことなく学習に取り組めるものになっています。

次に、第3の観点、（ウ）主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑤興味関心を高めるための工夫です。

作品図版をできるだけ大きく掲載しており、表紙には思わず触りたくなるような加工が施され、興味関心をもち、触って作品の質感を想像できるように工夫されています。このように、作品の美しさや楽しさが感覚的に伝わるような工夫によって、生徒の見方や感じ方を広げたり深めたりできるところがよいと考えられます。

次に、「光村図書」です。

第1の観点、（ア）知識及び技能の習得のうち、②形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫です。

3年間で必要な描く、つくる、写真、映像、発想・構想、形・色・光、色について、別冊資料（二次元コードを含む）が用意されており、生徒が参照しながら主体的に制作を進められる工夫があります。このように、別冊資料として3年間活用できるよう1冊にまとめられている点は、教師にとって使い勝手のよいものとなっています。また、「美術」に苦手意識がある生徒も、動画を視聴しながら、無理なく取り組めるよう工夫されてるところがよいと考えます。

次に、第3の観点、（ウ）主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑤興味関心を高めるための工夫、そして⑥生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるための工夫です。

全ての題材に二次元コードが掲載されており、全国の生徒作品、解説動画、技法動画など様々なコンテンツにアクセスでき、創作意欲を喚起するのに有効となっています。また、全体を通して多様な日本美術が掲載されており、日本の絵画を和紙のような風合いのある用紙に掲載したり、四季、動物、不思議、余白、構図のキーワードを手がかりに鑑賞できるようにしたりするなど、日本美術への理解が深まるような工夫がされています。このように、日本の絵画がもつ自然観や美意識を感じ取れたり、より本物に近い感覚で鑑賞できたりするなど、生徒の興味関心、主体的な学びを促すことができるところがよいところであると考えます。

次に、第5の観点のうち、（オ）内容の表現・表記、⑨デジタルコンテンツの活用です。

各題材において、題材名の横に二次元コードで、技法動画、全国の生徒作品、書き込みツール、鑑賞解説動画、作家作品関連動画、美術史用語、地域作品などを示しています。特に、「体感ミュージアム」では、鑑賞作品に書き込みや360度回して鑑賞できるようになっています。教科書の裏表紙に、学校生活や社会生活に役立つ資料が二次元コードで示されてもいます。このように、デジタル社会にマッチした生徒の見方を深めることのできる多様な新しい鑑賞の仕方を工夫されているところがよいと考えます。また、別冊資料は、3年間にわたって活用できるもので、教師にとって指導しやすく、生徒にとって基礎・基本の定着と創作での活動に有効なものになっています。このように360度見るようになっています。

続いて、「日本文教出版」についてです。

第3の観点のうち、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫、⑤興味関心を高めるための工夫です。

二次元コードから見られる2分程度の題材導入動画の中で、主題を生成する投げかけや何を学ぶのかが提示されており、生徒が自分ごとに置き換えて主体的に捉え、対話を増やして学べる工夫がされています。このような題材導入動画は、教師にとっても授業準備の負担を軽減するとともに、指導内容はより明確になり、どのような教師にも活用しやすいコンテンツになっているところがよいと考えます。

[動画視聴]

○金子教育指導課長 このようなコンテンツが入っております。

次に、第5の観点、(オ)内容の表現・表記のうち、⑧作品等についての示し方の工夫です。

表紙掲載の作品の一部を原寸大で掲載するなど大きく示し、細かい部分の表現まで見て取ることができたり、屏風作品を実際に折って実感的に鑑賞できたりする工夫があり、鑑賞の視点を広げています。このように、本物に近い形で見ることで鑑賞の視点を広げ、作者の意図や工夫も感覚的に理解しやすくなり、学びを深められるところが良いと考えます。

以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いいたします。

村上節子委員。

○村上(節)委員 私は「光村図書」がいいかなというふうに思っているんです

けど、3社それぞれの特徴をもう少し教えてもらえますか。

○金子教育指導課長 まず、「開隆堂」です。「開隆堂」は、生徒に興味関心をもたせることにより生徒の学習意欲を高め、確かな学力が身につくように工夫されているということが特徴だと考えます。

そして、「光村図書」は、生徒が資料や二次元コード、これらを参照しながら制作したり、見方が深まる豊かな鑑賞体験をしたりするなど、生徒が主体的に学びを深められるように工夫されているところが特徴だと考えます。

「日本文教出版」については、教師の指導のしやすさや生徒の実感的理解を生み出すよう工夫されているところが特徴だと報告されています。

以上です。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

「光村図書」の二次元コードの360度鑑賞することのできる動画というか、あったんですけど、自分の家で見たんですけども、すごいなど。特に大型モニターで見ると、美術館に行ってるのと同じような感覚になる。ほかに360度とかそういうもので鑑賞できるのは他社にございますか、どんなでしょう。

○金子教育指導課長 立体作品を360度回して鑑賞できる、このようなコンテンツはほかの社の中にもあります。しかし、どのような場で展示されているのかが分かるような展示空間を360度で体感できるようになっているのは光村図書の特徴となっています。ちょうどこのように展示空間も見ることができるようになっています。

○宮本教育長 従来はそこの外国の美術館に行かなければこういう視点で見れないものが、今は映像でこうやって、まるでその外国の美術館に行ったように見ることができるといのはすごいことだなというふうに思います。

ほかにいかがでしょうか。

奥田委員。

○奥田委員 私も「光村図書」がいいというふうに思っているんですけども、具体的に特徴的に1つ別冊という資料がありまして、資料でいろいろつくってみようという、創作をする際に非常に参考になる資料、別冊をつくっておられるというのも、これも現場では使い勝手のいいものではないかなと思います。

それから、特徴として日本の美術の深い理解、解説があるように思います。いろいろ日本の絵画の5つのキーワードとかを通して説明もありますが、全体的に日本文化の伝統的な絵画のすばらしさがよく分かるような、そういう編集

になっていると思います。

以上です。

○宮本教育長 今「光村図書」を評価する声が出てるんですが、ほかにはいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、以上で「美術」の質疑を終わって、採決に移ります。

「美術」は「光村図書」ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、そのように決しました。

続いて、「保健体育」について説明をお願いします。

○金子教育指導課長 「保健体育」について説明いたします。

報告書の48ページから51ページを御覧ください。

「保健体育」の教科用図書の発行者は4社です。

丸をつけたところについて報告いたします。丸をつけたところは、「東京書籍」につきましては、第1の観点の②、第2の観点の④、第3の観点の⑤です。「大日本図書」につきましてはありません。「大修館書店」につきましては、第2の観点の④、第3の観点の⑥、「学研」につきましては、第2の観点の④、第5の観点の⑨です。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは、「東京書籍」と「大修館書店」と「学研」です。この3社について具体的に説明いたします。

まず、「東京書籍」についてです。

第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、②知識及び技能の習得です。

巻末スキルブックを設け、「保健体育」で学んだことを日常生活や身の回りの健康や安全に関する課題で活用できるよう工夫されています。

次に、第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、④個人生活における健康安全について、自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫です。「広げる」と題して、学習した知識を基に、日常生活との関連性に気づかせたり、さらに調べたりする活動を設定しています。「活用する」では、思考力、判断力、表現力を効果的に働かせることができるように、シミュレーションや思考ツールに関するデジタル

コンテンツが提示されています。

[動画視聴]

○金子教育指導課長 このようなコンテンツが提示されています。

続いて、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑤自己の課題を見つけ、その解決に向けた各種活動の工夫です。

見開き2ページを1時間の授業構成として、ページの初めに日常経験や資料、小学校で学習したことを基に、学習課題に迫る「見つける」が設定されており、この「見つける」を基に学習課題が示され、課題の解決に向けて授業が展開されるよう工夫されています。

次に、「大修館書店」についてです。

第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、④個人生活における健康安全について、自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫です。

章のまとめとして学んだことを活用し、改善策や解決策を考え、導き出す問いを設定しています。学習のまとめでは、多様な表現活動を提示し、学習課題につながる気づきや思考を促し、自らの思考の過程等を客観的に捉えたり、集団としての考えを形成したりするなど、思考力、判断力、表現力等を育成できる問いが設定されています。

次に、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑥興味関心を高めるための工夫です。

章のまとめでは、主体的に学習に取り組む態度により、学習活動を振り返って自己評価し、そこで喚起された興味や関心を意識させ、自分の課題を見つけ、さらなる学びへの意欲を促す工夫がされています。

次に、「学研」についてです。

第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、④個人生活における健康安全について、自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫です。

「学びを活かす」として、習得した知識を活用し、グループでの協働活動をもつことで思考を深める場面を設定しています。また、章末に設定した研究課題「探究しようよ！」で、課題の例や学習の仕方を示すことによって、課題解決的な学習が展開されるよう設定されています。

次に、第5の観点、(オ)内容の表現・表記のうち、⑨イラスト、写真等の

活用です。

どの学習項目も見開き2ページの流れが課題発見の「ウォームアップ」、課題解決のための「エクササイズ」、学んだことを基にして実践的な課題に取り組む「学びを活かす」の基本構成となっており、マークの色を統一し、発問を明示するなど、学習活動に集中力を切らさずに、継続して参加させる工夫をしています。

以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いいたします。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

「保健体育」の場合、実技系の教科でもありますので、デジタルコンテンツも含めて、この教科書の見えやすさとか、読みやすさとか、それはどんなところにあるんでしょうか。

○金子教育指導課長 3社とも色などの見やすさはありますが、「東京書籍」は見開きで1時間の扱いになっています。ということで、見えやすい、読みやすい点があると考えます。

○宮本教育長 奥田委員。

○奥田委員 先ほども説明がありましたが、「東京書籍」の「保健体育」は見開き2ページということで1時間分、何を勉強にするのかということが非常に明確になっていると、最初の授業の初めに学習課題があり、そして学んだことを基に自分にとって広げるということで考えていく、そして自分のいわゆる安全・安心、そういうふうなもの、日常生活でどういうふうに健康的な生活を送るために何が必要なのかということ非常にコンパクトにうまく表現していると思います。最後のところのスキルブックというところでもうまくまとめられており、自分を振り返る、自分の安全を振り返るといときに使いやすいというふうに思います。

以上です。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

豊田委員。

○豊田委員 豊田でございます。

課題を発見し、そして解決し、振り返る、その学習過程もそうですし、それからそれらを活用するというところが非常に大事に取り上げてあると思います。そこがいいと思います、「東京書籍」です。

それから、該当するデジタルコンテンツについても、思考力、判断力、表現

力を育成するために適したものが使われているということで、「東京書籍」が
いいかなというふうに思います。

以上です。

○宮本教育長 今「東京書籍」を評価する意見が出てるんですが、ほかにありま
せんか。

私も3社ともすばらしい教科書だなと思って読ませていただきました。「学
研」でいうと、特に学んだことを基に実践的な課題に取り組むということで、
学びを生かす構成が基本的にこの教科書はなされていて、これは「保健体育」
にとって非常にいいんじゃないかなというふうに読ませていただきましたし、
「大修館書店」も思考力、判断力、表現力、「保健体育」であってもそういつ
た力を育成できる問いというものが設定されていて、ここも評価できるなとい
うふうに思って読ませていただきました。

ただ、委員の皆さんがおっしゃったように、「東京書籍」は日常生活との関
連ですとか、デジタルコンテンツの活用ですとか、また学習課題を示しての授
業展開、教師としては使いやすい形の教科書の構成ということを考えて、総合
的に「東京書籍」に優れた点が多いのかなということで、私も「東京書籍」を
評価したいと思います。

では、ないようでしたら、質疑を終わって、採決に移りたいと思います。

「保健体育」は「東京書籍」ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、御異議なしということで、そのように決しました。

続きまして、「技術・家庭（技術分野）」についての説明をお願いいたしま
す。

○金子教育指導課長 「技術・家庭（技術分野）」について説明いたします。

報告書の52ページから54ページを御覧ください。

「技術・家庭（技術分野）」の教科用図書の発行者は、「東京書籍」と「教
育図書」と「開隆堂」の3社です。この3社の特徴を説明いたします。

丸をつけたところは、まず「東京書籍」につきましては、第1の観点の②、
第2の観点の③、第5の観点の⑩です。「教育図書」につきましては、第1の
観点の②、第3の観点の⑥、第4の観点の⑧です。「開隆堂」につきましては
は、第3の観点の⑥、第5の観点の⑨です。

まず、「東京書籍」についてです。

第1の観点、（ア）知識及び技能の習得のうち、②技術の概念の理解を促す
ための工夫です。

内容AからCの第3章及び内容Dの4章の最初の項に「技術の最適化」という項目があり、またその項の冒頭では「生徒のつぶやき」を吹き出して記載しています。このことにより、これまでの学習を振り返らせ、自分の問題解決と社会における問題解決について考えさせることができるようになっていきます。

次に、第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、③技術の見方、考え方を意識させるための工夫です。

「技術分野」のガイダンス「技術の見方・考え方」の中に、技術の最適化について1ページ分の漫画を掲載しています。このことにより、製品が社会からの要求・安全性、環境への負荷、経済性から折り合いをつけ最適化されていることについて理解をさせやすくなっています。

次に、第5の観点、(オ)内容の表現・表記のうち、⑩デジタルコンテンツの活用です。

「デジタルコンテンツを活用しよう」のページがあり、デジタルコンテンツの一覧表示用の二次元コードが示されているとともに、全てのページにDマークと二次元コードが示されています。8種類のデジタルコンテンツが用意されており、動画や図鑑は道具の使い方を知りたいとき、思考ツールやワークシートは考えを整理したいとき、シミュレーションは電気の流れや機械の動きについて理解したいときに主体的に活用できるようになっています。このように、豊富で様々な種類のコンテンツを取りそろえていることにより、その日の授業の用途に適したコンテンツを多くの選択肢の中から選ぶことができ、的を絞った学習を実現させることができるようになっていきます。

次に、「教育図書」についてです。

第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、②技術の概念の理解を促すための工夫です。

内容AからCの第3章及び内容C、第4章は、「社会の発展と〇〇の技術」という表題になっており、その冒頭を技術のプラス面とマイナス面という統一した見出しで始め、「生徒のつぶやき」を掲載しています。このことにより、世の中の技術の役割や技術が与える影響、社会におけるプラス面とマイナス面を考えさせることができるようになっていきます。

次に、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑥学習過程の工夫です。

「やってみよう」のページに、ここまで学んできた内容について整理し、もう一度考えるワークシートを掲載しています。「夢をかなえる技術」において、これまで学んだ技術を組み合わせることで開発された新たな技術と具体例を挙げ

て掲載しています。また、「将来のあなたへ」では、技術関係へ進学した先輩からのメッセージや日本の技術を支える人々の思いとして、様々な分野の日本の技術とそれを支える人々について掲載がしてあります。このことにより、これまでの学習を踏まえ、技術の上手な活用法や新しく開発したい技術、これから技術とどのように向き合っていくものかを考えさせることができるようになっていきます。

次に、第4の観点、(エ)内容の構成、配列、分量のうち、⑧実践的・体験的な学習を実施するための工夫です。

各内容での用具の使用方法や作業方法についてスキルアシストという別冊があります。各内容とも、「実習（や見学）の安全な進め方を知ろう」で安全についての記述があるとともに、「プチ問題解決にチャレンジ！」で簡単にできる問題解決の例を挙げ、さらに「身近な問題を解決してみよう」で問題解決の具体的な方法について実習例を示しています。

次に、「開隆堂」についてです。

第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑥学習過程の工夫です。

命を守る防災、医療・介護の技術、技術により問題の解決を考えようにおいて、気象衛星ひまわり9号が災害規模の予測や対策に役立っている事実が記載され、技術による問題の解決を考えようの欄で、社会が抱える問題とそれを解決しようとする新しい技術の具体例などを記述しています。このことにより、今社会の中で使われている技術、また社会が抱える問題とそれを解決しようとする新しい技術があるということに気づかせることができるようになっていきます。

次に、第5の観点、(オ)内容の表現・表記のうち、⑨各教科等と関連させて学習を進める工夫です。

各内容の初めに、小学校や他教科とのつながりとして関連する学習内容が示してあります。また、他教科や小学校での学習との関わりがあるところに、「他教科」「小学校」のようなマークを示し、ほかの学習項目や「家庭分野」との関わりがあるところをマークで示しています。このことにより、「小学校」「他教科」など、いろいろな分野と関連をもたせながら学習を進めることができるため、振り返って、違う角度から物を見たりすることができ、学習をより深めることができるようになっていきます。

以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いいたします。

豊田委員。

○**豊田委員** 豊田でございます。

今お聞きしまして、「東京書籍」のほうは「技術の最適化」というキーワードだったかなと思うんですけども、それと「教育図書」のほうは「社会における技術との向き合い方を考えさせていく」というふうなことがキーワードだったかと思うんですが、それでよろしいでしょうか。もうちょっと付け加えがあったら教えてください。

○**金子教育指導課長** 今の御意見と同様です。「東京書籍」の特徴は、自分の問題と社会における問題解決について考えさせるなど、「技術の最適化」という「技術科」の見方、考え方を明確にしているところが特徴でございます。

また、「教育図書」の特徴は、物づくりの観点を大切にしながら、社会における技術との向き合い方、これらを考えさせている点が特徴的であると報告されています。

○**宮本教育長** ほかにいかがでしょうか。

村上節子委員。

○**村上（節）委員** 「教育図書」にスキルアシストっていう別冊がありますが、これはほかには全くない特徴になるのでしょうか。

○**金子教育指導課長** 別冊がついているスキルアシストというものは「教育図書」独自です。各内容での用具の使用法や作業方法について示しています。また、簡単にできる問題解決の例を挙げ、問題解決の具体的な方法について自習例も示されています。

○**宮本教育長** よろしいですか。

ほかにいかがでしょう。

村上正則委員。

○**村上（正）委員** 村上です。

「東京書籍」のデジタルコンテンツは他の教科でも結構多いんですけども、この第5の観点の8種類のコンテンツというのがあるんですけども、ほかの社はどのような工夫をされてますか。「東京書籍」の場合、400を超えるコンテンツがあるんですけども、ほかはどうなんでしょうか。もし分かれば教えてください。

○**金子教育指導課長** ほかの社もデジタルコンテンツのところは工夫されて豊富に示されています。特に「東京書籍」で特徴的なのは、他社にはなく、二次元コードが、思考ツールやその単元に特化したものを操作しながら理解が深まる工夫が盛り込まれています。このように多くの選択肢の中から選ぶことがで

き、的を絞った学習を実現させることができると報告を受けています。

○**奥田委員** 「東京書籍」の場合、現在の技術を学ぶということとともに、常に未来にどのように生かしていくかという、そういう視点で貫かれているというところがすばらしいところではないかと思います。現状だけの技術の問題でなく、それをどのように将来に生かしていけばいいのかを考えさせるという、そういうところは非常に教育的ですばらしいところではないかなって思いました。

○**宮本教育長** 私も、「技術」ですので、「技術」の見方、考え方っていうところに着目して教科書を見たんですけども、「東京書籍」は19ページに「技術」の見方、考え方ということで、社会からの要求という視点、安全性という視点、環境への負荷という視点、経済性という視点が示されてまして、やはり視点の数がかなり豊富に示されてますし、また環境と経済っていうのは相反する部分があるんですけど、てんびんを図示されて、どちらにも傾かないようなバランスを取らなきゃいけないということを生徒に気づかせるような、そういった図示の工夫があったりしました。

「教育図書」は、やはり同じように9ページに「技術」の見方、考え方っていうことは示されてるんですけども、やはり視点が少ないですね、そういった面では。ですので、「東京書籍」のほうが「技術」の見方、考え方がより整理されて、豊富な視点が示され、また環境、経済というところのバランスっていうところを考えさせるような、そういったところは優れているなというふうに感じました。

ほかにございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** では、ないようですので、以上で「技術分野」の質疑を終わって、採決に移りたいと思います。

「技術分野」は「東京書籍」ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**宮本教育長** では、御異議なしと認め、そのように決しました。

続いて、「家庭分野」に移りたいと思います。

説明をお願いします。

○**金子教育指導課長** 「技術・家庭（家庭分野）」について説明します。

報告書の55から57ページを御覧ください。

「技術・家庭（家庭分野）」の教科用図書の発行者は、「東京書籍」と「教

育図書」と「開隆堂」の3社です。この3社の特徴を説明いたします。

まず、「東京書籍」につきましては、丸をつけたところは第2の観点の④、第3の観点の⑤、第5の観点の⑩です。「教育図書」につきましては、第1の観点の①、第3の観点の⑥です。「開隆堂」につきましては、第3の観点の⑤、第4の観点の⑧です。

まず、「東京書籍」についてです。

第2の観点、（イ）思考力、判断力、表現力等の育成のうち、④課題を実践し、評価・改善し、表現するための工夫です。

生活の課題と実践の進め方を掲載し、1、課題を決めよう、2、計画を立てよう、3、家庭や地域で実践しよう、4、評価しよう、5、改善しよう、6、次の課題に挑戦しようというように課題解決の流れを示しています。このことにより、課題の活動を実践し、振り返りで評価・改善し、言語表現することで、科学的理解を定着・深化するという学習の流れを生徒に意識づけ、ゴールを見据えた学習を実現することができるようになっていきます。

次に、第3の観点、（ウ）主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑤学習した内容を家庭や地域で実践するための工夫です。

「生活に生かそう」、これが学習のまとめの中にあります。このことにより、授業で学習したことを基に自分の生活を見直し、自分の家庭生活をよりよくする方法を記述できるため、「家庭分野」の見方、考え方である生活に始まって生活に返すということがしっかりと示され、生活の課題を実践につなげることができるようになっていきます。

次に、第5の観点、（オ）内容の表現・表記のうち、⑩デジタルコンテンツの活用です。

授業で使用できるワークシートや思考ツール、基礎機能や幼児に関わる動画など、豊富で様々な8種類のコンテンツを取りそろえています。このことにより、料理を選ぶだけで食品群別摂取量が自動で計算、グラフ化されるなど、用途に適したコンテンツを多くの選択肢の中から選ぶことができ、的を絞った学習が実現できます。

次に、「教育図書」についてです。

第1の観点、（ア）知識及び技能の習得のうち、①基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫です。

「実習は安全に取り組もう」を巻頭に掲載しています。このことにより、けがや衛生面に気をつけるという基礎的・基本的な知識及び技能の習得を強く印象づけ、実践につながるすることができます。

次に、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑥生活の営みに係る見方、考え方を働かせるための工夫です。

ガイダンス「つなぐ・つながる×家庭分野」において、生活の営みに係る見方・考え方をつながりというキーワードを用いて説明しています。このことにより、人と人、私たちと生活・伝統、生活と環境(SDGs)などを意識した上で「家庭科」を学び始めることができるようになっています。

次に、「開隆堂」についてです。

第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑤学習した内容を家庭や地域で実践するための工夫です。

やってみよう、考えてみよう、調べてみよう、話し合ってみようという生活の中の具体的な出来事から課題を考える活動を設定しています。このことにより、学習した内容を家庭や地域で実践することにつなげることができます。

次に、第4の観点、(エ)内容の構成、配列、分量のうち、⑧他教科等と関連させて学習を進めるための工夫についてです。

中学校の他教科等の学習内容や「技術分野」との関連については、他教科、他分野との関連マーク、これを右ページ上部に示し、教科、分野、単元、題材概要を示しています。このことにより、教科横断的な学習につなげやすくなっています。

以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いします。

村上節子委員。

○村上(節)委員 「技術」の教科書会社と「家庭科」の教科書会社は同じほうがいいとか、別に違ってでもいいとかありますか。

○金子教育指導課長 同じ社であれば、レイアウトやデザインは近いものとなっています。「必ずしも同じ会社でなくてもよいが、共通していると生徒は使いやすいと考えます。」という報告を受けています。

○宮本教育長 いかがでしょうか。

奥田委員。

○奥田委員 3社を比較してみまして、「東京書籍」は生活と「家庭科」を関連づけるという視点が非常に明確で、そういうところがいいのではないかなと思います。学んだことが、自分の生活の見直しにつながるという観点がしっかりしているというところで評価できると思います。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

二次元コンテンツについてなんですけども、「東京書籍」のほうが優れているとは思いますが、数としたら「東京書籍」が373、「教育図書」が136、「開隆堂」が180と、もう群を抜いて「東京書籍」のほうが多いんですけども、中身についてはどうなのかなとちょっと思うのが1点と。

あと、「開隆堂」のほうに今話題のフワちゃんが載ってるんですけども、これは一応差し替えになるというふうに聞き及んでるんですけども、それでよろしいのかどうか。

○金子教育指導課長 中身については各社色々な工夫がされています。

「東京書籍」については、学習内容を定着・深化したり、家庭での実践に役立てたりできるようになっています。生徒がタブレット端末で色々なコンテンツを選ぶことができ、主体的に学習を進めることができるのではないかと。そして、たくさんあるコンテンツの中から、その選択肢の中から選ぶことができますので、授業の中での的を絞った学習ができることにつながるのではないかと考えます。

また、フワちゃんのことについては、すみません、私のほうでは把握しておりません。

○宮本教育長 よろしいでしょうか。

ほかにいかがでしょうか。

豊田委員。

○豊田委員 豊田でございます。

昨年、県の「家庭科」の研究大会が尾道市の三成小学校でございました。そのときに、まさに「家庭科」の授業というのは、課題を生活の中から見つけて、子供たちが、解決し、そしてそれらをさらに家庭の中へ生かしていく、実践していく、その道筋を学んでおりました。「東京書籍」の教科書の中から、そういった実践を通して、子供たちがさらに新たな課題を見つけて、解決していく、それが「家庭科」の学習の中心になるんだなということを改めて意を強くしたんですけども、そういう面で「東京書籍」の配列やら、それから書かれている記述につきましても大変いいものであると思いました。

以上です。

○宮本教育長 私も今委員さんがおっしゃったところ、「東京書籍」はいいところだと思って評価をしたいところでもあります。また、先ほど「技術」のときに申しました見方、考え方という視点で申しますと、「家庭分野」の見方、考え方ということで、「東京書籍」は協力・協働、生活文化の継承・創造、健康・

快適・安全、持続可能な社会の構築という4つの考え方をきちんと示しておりまして、そういう見方で日常生活を見てみようという大きな枠組みを示しているってところはすごくいいなと思いました。

「教育図書」も今の同じような視点を示しているんですけども、ちょっとぼんやりとしてるといいますか、明確ではないところがありますし、「開隆堂」についてはそのあたりの「家庭分野」の見方、考え方がよく分からないところがあるってというような感じで私は捉えましたので、そういったところからも「東京書籍」が優れているのかなというふうに考えております。

ほかにございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、質疑を終わって、採決に移りたいと思います。

「家庭分野」は「東京書籍」ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、御異議なしと認め、そのように決しました。

続いて、「外国語」について説明をお願いします。

○金子教育指導課長 「外国語」について説明します。

報告書の58から62ページを御覧ください。

「外国語」の教科用図書の発行者は6社です。

丸をつけたところについて報告します。「東京書籍」につきましては、第1の観点の①、第5の観点⑩、「開隆堂」につきましては、第2の観点の④、第3の観点の⑤、第4の観点の⑦、「三省堂」につきましては、第3の観点の⑥、「教育出版」につきましてはありません。「光村図書」につきましてもありません。「啓林館」につきましてもありません。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは、「東京書籍」と「開隆堂」と「三省堂」です。この3社について具体的に説明します。

まず、「東京書籍」です。

第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、①単元の目標の示し方です。

目次に單元ごとの活動目標と文法事項を見開きで提示しています。各単元の冒頭、教科書中央付近に「GOAL」が分かりやすく提示してあり、「GOAL」に対応して、単元末、教科書下部に「CHECK」において、生徒自身が目標達成を振り返るよう設定されています。

次に、第5の観点、(オ)内容の表現・表記のうち、⑩学習到達目標の設定

です。

巻末口絵「学習を振り返ろうーCAN-DOリスト」は、領域別に学年ごとに3年間の見通しが持てるよう見開きで提示されており、大変分かりやすくなっています。領域別及び「Stage」ごとに目標についての振り返りを4段階で設定しています。また、学年ごとに3年間の目標が一覧になっています。

「Expression List」がどの学年にも設定されており、各単元で学習した内容をやり取りなどの学習で活用しやすいものになっています。

次に、「開隆堂」です。

第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、④知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫です。

「Program」の最後にリテリングして話す活動、「Review&Retell」では、単元の内容を振り返り、自分の言葉で伝える活動、「Action」では、「読む」、「書く」、「話す」活動を通して、自分の考えを他者と交流する活動、「Power-Up」では、インタビューを「聞く」活動からインタビュアーになって相手に尋ねる、「話す」活動場面を設定し、相手意識をもたせて、英語で表現する活動など、4領域を統合した活動になるよう工夫されています。

次に、第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑤単元に対する興味関心を高めるための工夫です。

新出表現の導入を漫画形式で提示しており、新出表現がどのような目的・場面・状況で使われているのかを視覚的に容易に理解できます。二次元コードを読み取ると、教科書同様の漫画がスライドで表示され、英語音声とともに英語表示の有無を選択でき、自主学習に有効活用できます。新出文法がどのような目的、場面、状況で活用できるのか、会話の中で視覚的に音声とともに理解することができます。各単元の「Part」に入る前の「Tuning in」では、本文のテーマについて話し合う活動や会話を聞き内容を確認する活動を設定しています。

[動画視聴]

○金子教育指導課長 次に、第4の観点、(エ)内容の構成、配列、分量のうち、⑦単元の構成、配列の工夫です。

「Scenes」で「聞く」、「やり取り」、「書く」活動をする、単元末に「Action」で「やり取り」の活動があります。ステージ末に「Our

Project」(統合問題)があり、Part 1からPart 3では、新出文法が1ページずつ学習できるようになっており、授業者にとって扱いやすいものになっています。本文理解と言語活動を同じページで扱っていない仕様も評価できるところでございます。導入に本文を「聞く」活動を設定している点も評価できます。モデルを例示し、マッピングやメモなどを活用しながら、自分の考えをスモールステップで、英文で作成することができるよう構成されています。

次に、「三省堂」についてです。

第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑥単元等における振り返りの工夫です。

各単元の冒頭に「Goal Activity」を提示しており、単元末にどんな英文を読むのかが明確になっています。「Take Action」では、それまでの学習内容を活用して、「話す」、「聞く」といった言語活動ができるようになっています。「Small Talk Plus」では、本文の内容と関連する話題で話す活動を設定しています。「Tips」で会話を広げるヒントを例文を交えて紹介しています。3單元ごとに「Project」があり、既習事項を振り返り、表現できるようになっています。

以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いいたします。

村上正則委員。

○村上(正)委員 中学1年生の英語なんですけど、小学校英語とのつながりとかはどういうようになってるんでしょう。

○金子教育指導課長 今年度から小学校で使っている教科書は「開隆堂」となっています。以前は「東京書籍」でしたけれども、今年度から「開隆堂」に変わっています。小中で同じ社を使っていなければつながりが悪いということはないというふうに聞いています。

○宮本教育長 よろしいですか。

ほかにいかがでしょうか。

村上節子委員。

○村上(節)委員 尾道市が「グローバル・ローカル・尾道らしさ」というのを推進してると思うんですけど、その事業との展開とかつながりとかっていうのは何かありますか。

○金子教育指導課長 「開隆堂」の教科書では、リテリングして話す活動や自分の言葉で伝える活動が仕込まれています。「グローバル・ローカル・尾道らし

さ」を推進する事業でも、中学校卒業時には日常会話ができることを目指しています。「開隆堂」の教科書を使うことは、この目標を達成することにつながるものであると考えます。

○宮本教育長 いいですか。

ほかにいかがでしょう。

奥田委員。

○奥田委員 私は「開隆堂」の教科書を勧めたいと思います。

その理由は、他者の「英語」の教科書と比較してみまして、「開隆堂」の教科書は、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」という4領域がバランスよく編集されていると、トータル3年間で英語力がアップするだろうなということが考えられます。

それともう一つ、この会社のよさは、外国文化理解というところが深いというふうに思います。「英語」は技術として英語をしゃべるというだけではなくて、やっぱりいろんな世界の国々の文化を理解する、その窓口になっている、そういう教科だと思います。そういう観点から見て、いろんな世界のいろんな多様な考え方を学べる教材がうまく配列されているということで「開隆堂」を高く評価したいと思います。

以上です。

○宮本教育長 豊田委員。

○豊田委員 私も同じ意見です。「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4領域を統合した形、統合した形での展開になっているように部分、部分を見ていきました。そういうところでは非常によく編集されていると思いました。

以上です。

○宮本教育長 今「開隆堂」を評価する意見があるんですけども、私も教科書を見て、「東京書籍」はややリーディングに重点が置かれていて、単元の導入もかなりの長文を読んでから入るような構成になっているんですね。だから、英語に苦手意識があるお子さんにとってはちょっとハードルが高いっていうような感じを受けます。それに比べて、「開隆堂」は導入に漫画形式で2人の会話のやり取りっていうのを視覚的にも分かりやすい形で導入されてる単元がたくさんありまして、その後も、その会話に関係するような形で、長文もちろんあるんですけども、とっつきやすい形で導入した後に長文を読むっていう、長文のやり取りを理解していくというような構成です。そういう意味では工夫されてるのかなというふうに思いますので、そのあたりも「開隆堂」の優れているところかなというふうに思いました。

ほかに委員さんのほうからありますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、ないようですので、「外国語」の質疑を終わって、採決に入りたいと思います。

「外国語」は「開隆堂」ということで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 御異議なしと認め、そのように決しました。

では、最後、「特別の教科道徳」について説明をお願いします。

○金子教育指導課長 「特別の教科道徳」について説明いたします。

報告書の63から67ページを御覧ください。

「特別の教科道徳」の教科用図書の発行者は7社です。

丸をつけたところを報告いたします。「東京書籍」につきましては、第3の観点の⑤、第4の観点の⑧、第5の観点の⑩です。「教育出版」につきましてはありません。「光村図書」についてもありません。「日本文教出版社」につきましては、第1の観点の①、第2の観点の④、「学研」につきましてはありません。「あかつき教育図書」につきましては、第3の観点の⑥、第4の観点の⑦、「日本教科書」につきましてはありません。

選定委員会での審議の結果、特に特徴的であると評価したものは、「東京書籍」と「日本文教出版」と「あかつき教育図書」です。この3社について具体的に説明をいたします。

まず、「東京書籍」についてです。

第3の観点、（ウ）主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑤問題解決的な学習を取り入れた工夫です。

「Plus」を設け、目次及び該当ページにマークをつけて示し、教材の終わりに探究の対話「p4c」や「対話の流れ」など、多様な問題解決学習の手法を設定しており、生徒が考えを深め、それを安心して交流できる工夫がされています。生徒の心に響く副題もつけられています。

次に、第4の観点、（エ）内容の構成、配列、分量のうち、⑧現代的な課題等を踏まえた内容の示し方です。

付録にSDGsと関連する教材があるとともに、いじめ問題をテーマとした3つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめのない世界へ」を設けており、生徒にとって問題を掘り下げて考えられるものになっています。

次に、第5の観点、（オ）内容の表現・表記のうち、⑩教材の内容を理解させる工夫です。

朗読音声、ワークシート、ウェブサイト、資料、VR映像、心情円、映像、他教科リンクなどを二次元コードとともに示しており、多種多様な情報を活用したり、体験したりすることができ、生徒に興味関心をもたせることができるようになっています。

次に、「日本文教出版」についてです。

第1の観点、(ア)知識及び技能の習得のうち、①道徳科の学び方等の示し方です。

見開き2ページに、主題や教材、発問と学習の流れなどを、①気づく、②考える・議論する・深める、③見つめる・生かすの3つで、イラストや吹き出し等とともに示しています。

次に、第2の観点、(イ)思考力、判断力、表現力等の育成のうち、④考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫です。

別冊道徳ノートは、学級や生徒の実態を踏まえて、自由に記入欄を活用できるものとなっています。自分の考えや友達などの意見等を聞くこともでき、思考、判断、表現を行う上で活用できるものとなっています。巻末の「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」が学期ごとに設けられており、印象的だった授業や自己の成長の経過を記録し、ポートフォリオ評価として、重要な評価に生かすことができるものになっています。

最後に、「あかつき教育図書」についてです。

第3の観点、(ウ)主体的に学習に取り組む工夫のうち、⑥体験的な学習を取り入れた工夫です。

「マイ・プラス」を設け、目次及び該当ページにマークをつけて示し、教材の終わりに、体験的な学習に関連する学習過程の例を示しています。

次に、第4の観点、(エ)内容の構成、配列、分量のうち、⑦分量や教材の数です。

各学年とも35教材、いじめを考える、共に生きる社会、国際理解、キャリア、伝統文化、情報モラル、生命の大切さ、安全・防災、自然・環境、スポーツの10のテーマを設定し、多面的、多角的に学べるようになっています。

以上です。

○宮本教育長 それでは、御意見、御質問をお願いします。

村上節子委員。

○村上(節)委員 別冊としてついているのが「日本文教出版」だけなんですけど、ほかにそれに代わるようなものがついているとかありますか。

○金子教育指導課長 別冊がついているのは「日本文教出版」のみでございます。

す。道徳ノートということで、自分の考えや友達の見解を聞いたり、思考、判断、表現をしたりしていく上でも活用できるようになっています。

また、以前は発問もこの別冊のノートの中に書かれていましたけれども、今回はなくなって、現場の声が生かされているものであると思われます。

ただ、ほかの社については、別冊等はありませんけれども、デジタルコンテンツの中にワークシート等が全てついております。それをもって代えることができるのではないかと話しています。

以上です。

○宮本教育長 村上節子委員。

○村上（節）委員 この「日本文教出版」を採択とか、「日本文教出版」に決まないと、この別冊っていうもの自体はなくなるけれども、ほかのものに決めても問題ないということですか。

○金子教育指導課長 「日本文教出版」を採択しないとこの別冊は使えません。代わりとなるものとしたしましては、例えば「東京書籍」等の中にも、二次元コードの中にワークシートが掲載されており、印刷して使用したりすることは可能となっています。これまでも、他教科と同様に、道徳ノートというものを各学校でつくって、それに書き込むというような工夫をされているという学校もありますので、オリジナルの道徳ノートをつくったり、あるいは二次元コードの中についているワークシートを印刷して、それに代えたりということで、代わりができると考えています。

○宮本教育長 ほかにいかがでしょうか。

村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

「日本文教出版」と「東京書籍」の評価が高いようですが、その要因となっているものは何でしょうか。

○金子教育指導課長 資料の豊富さ、そして思考力を鍛えるという点で「東京書籍」が工夫されていると説明を受けています。

「道徳科」においては、特に価値理解を表面的な理解で終わるのではなく、自分ごととして様々な問題を掘り下げて考える学習をしていく教科となっています。深く掘り下げて考える思考力を育てたいということを大切にしたいと調査員からも聞いておりまして、その点については「東京書籍」に特徴が見られると報告を受けております。

○宮本教育長 村上正則委員。

○村上（正）委員 村上です。

「日本文教出版」を選択した場合、今までどおり安定した教育ができると思うんですけど、私はちょっと「日本文教出版」押しなんです。というのが、これ1年で1冊、これを持っていけば、これを年度の終わりにぱらぱらと見れば、自分の心の記録というか、成長の記録が一目で分かるんじゃないかな。デジタルではない、デジタルはどうしてもiPadとかそういったタブレットを開かないといけないんだけど、これだったら持っててすぐ見れるというようなよさがあると思います。

それと、「東京書籍」を選択した場合、これを超えられるような何か授業展開ができるのかどうか、子供たちにいい影響が与えられるのかどうかをお聞きしたいんですけど。

○金子教育指導課長 別冊のノートが1冊あるということは、そのまま記録に残るということになりますけれども、例えば学校が工夫する道徳ノートというものを別につくれば、それが記録になると思いますし、ワークシートは各学校でファイル等にとじていくというようなことをよく見かけますので、記録に残るところは同じことができるのではないかと考えております。

また、授業については、新しく「東京書籍」を選定いたしますと、先生方が新たな教材研究をしていくようになります。けれども、調査員の先生に聞きますと、先生方がこの新たな教材に向かってしっかりと教材研究をすることで、さらに授業の展開、この点のステップアップが期待できるのではないかと考えていると聞いています。

また、「東京書籍」はデジタルコンテンツも優れておりますので、道徳科においてもICTを活用して授業改善が進んでいく、これも併せて期待していると調査員のほうから聞いているところでございます。

○宮本教育長 豊田委員。

○豊田委員 昨年までは「日本文教出版」を使っていましたよね。そして、道徳ノートをぜひ使いたいということで先生方の御要望が強かったので、そちらのほうの採択になりましたけれども、両社を今年度比べてみまして、1つは内容的にも両方とも甲乙つけ難い内容であると思うんですけども、それと併せて、道徳の中で議論する道徳というのが今言われていますけれども、その議論を促す道徳の教科書はどちらなのかなということを考えたときに、「東京書籍」のほうが、考えよう、見つめようということで、その材料の巻末につけてあって、このことについて考えよう、見つめようというような視点が示してあります。それを見ながら学習していく中で、議論する道徳、深める道徳になっていくのかなということを思うんです。「日本文教出版」にもそういう視点は

書いてあるんですけども、全体的に教材を読んだときに、どちらがどうかというところ辺まではいかないんですけど、「東京書籍」のほうが少し充実しているのかなというふうな見方を私はしております。

それと、現代の課題であるいじめ問題のところが大きく単元を起こして、そこでしっかりと考えていくように、いろんな視点からいじめの構造であったりとか、種類であったりとか、そういうものが非常に整理されて、構造的に提示されているように思いました。

それから、気づく、考える、道德ですから、気づいて、深く考えて、実行に移していくというふうなことで、学習のパターンが非常にはっきりと示してある点もやや「東京書籍」がいいかなというように思います。

道德ノートについては、どうしても「日本文教出版」の道德ノートを使わなきゃいけないということではないんですけど、「東京書籍」を使うんだったら、継続して書くという作業ができるようなものを作成して、そしてファイルして行って、村上委員さんがおっしゃったように、年度末にそれが出来上がって、ずっと持っていて見ることができるような、そういうふうな営みもやはり必要ではないかなというふうな気がいたします。

総じて「東京書籍」がいいかなというように思います。

○宮本教育長 奥田委員。

○奥田委員 私も「東京書籍」を押したいと思います。

これまでは「日本文教出版」の教科書の題材が、他の教科書会社と比較して特に優れており、そして道德ノートという、そういうもので生徒たちが自分の気持ちをまとめるという、そういう「道德」の授業を進める上で非常にうまく工夫されている教科書だと思っていましたが、今回新たに「東京書籍」の教材を見ますと、非常に工夫をされていて、今日的な子供の話題を問題にして、いじめの問題であるとか、命の尊厳であるとか、いろいろなものが子供たちの心に響いて考えられるような教材をしっかりとこの社は集められて努力しておられるなということを感じました。そこは企業としての努力というものを評価したいと思います。

最終的には、評価委員会からもあったように、新しくこの「東京書籍」を採用することで、先生方がまた新しい「道德」の授業にチャレンジすると、そういうことでまた「道德」の授業を高めることを期待したいというような意見も紹介されましたが、まさにそのことを期待して、従来と同じではなく、また違う視点で子供たちの道德心を高めるような授業展開というものを期待したいと思います。

以上です。

○宮本教育長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、2つの意見があるようでございますので、それぞれの発行者について挙手によって採決をしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 それでは、「東京書籍」に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○宮本教育長 賛成多数により「道徳」は「東京書籍」に決定しました。

では、以上で終わりますが、「国語」からもう一度確認をさせていただけたらと思います。よろしいでしょうか。

まず、「国語」、「光村図書」、「書写」、「光村図書」、「地理」、「帝国書院」、「歴史」、「東京書籍」、「公民」、「東京書籍」、「地図」、「帝国書院」、「数学」、「東京書籍」、「理科」、「啓林館」、「音楽（一般）」、「教育芸術社」、「音楽（器楽合奏）」、「教育芸術社」、「美術」、「光村図書」、「保健体育」、「東京書籍」、「技術」、「東京書籍」、「家庭」、「東京書籍」、「外国語」、「開隆堂」、「道徳」、「東京書籍」。以上でございます。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、以上で審議を終わります。

この後の採択事務について説明をお願いします。

○金子教育指導課長 本日の採択結果につきましては、8月31日までに広島県教育委員会へ報告いたします。広島県教育委員会は、県内の各採択地区の採択結果を9月1日以降に公表いたします。これに合わせて、尾道市教育委員会においても、令和7年度に尾道市立小・中学校で使用する教科用図書の採択基本方針についての1、採択基本方針の(3)開かれた採択の推進に基づいて公表に努めてまいります。

○宮本教育長 ただいまの説明について何か御質問ありますでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○宮本教育長 では、これで議案第43号の審議を終わります。

以上をもって本日の日程は終了しました。

これをもって本日の会議を散会すると同時に、第9回教育委員会定例会を閉会いたします。

なお、次回の定例教育委員会は令和6年9月26日木曜日、午後2時30分からを予定しております。

誠にお疲れさまでした。ありがとうございました。

午後4時45分 閉会